



# Web Fairy Paradise

第58号

## 今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第51回 WFP フェアリー作品展(再掲)
- ・ 第52回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第65回 推理将棋出題

## 結果発表

- ・ 第50回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第64回 推理将棋出題

## 読み物

- ・ Fairy TopIX2012 お気に入り投票結果



2013/4

## はじめに

---



### プロ野球開幕！

今年こそ A クラスとカープファンの私は毎年思うのだが、毎年終盤で失速してがっかり。今年は開幕カードが巨人で 1 勝も出来ず、その後も勝ったり負けたりで強いのか弱いのかもよく分からない。チーム打率はセで 1 番いいし、ピッチャーの三本柱が個人成績でも上上位に名を連ねる。それでなんで勝てないの。三振の数は No.1、併殺の数も多い。ホームランは下から 2 番目。短打の数は 1 番多い。さてさて今年をよく分からない。前田健太、肩に違和感当番回避！こりやだめかも。

行くなら行く。駄目なら駄目で、中途半端が一番ファンには精神的に辛い所です。

さて今月号は Fairy TopIX2012 お気に入り投票の結果発表です。最近の解答者数を見ていてちょっと不安を感じていましたので昨年並みの投票者数を得られて何とか一安心。とはいえ毎年投票頂いていた方から今年は投票がなかったりするとちょっとがっかりとこの時期は精神状態が不安的になってしまいます。とはいえ投票頂いた皆様どうもありがとうございました。時間的に余裕がなくほぼ結果の羅列となってしまうかもしれませんがお許してください。

結果への感想も出来ればお願いいたします。個人的は意外な結果も多かった感じがしています。

### 【募集】

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも 4 コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト 10、自己紹介、何でも OK です。

### 感想

第 58 号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : [takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

協力いただいている方々の HP アドレス  
\*ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供 : 幻想素材サイト First Moon  
<http://www.first-moon.com/>  
\*表紙のイラストを使用させて頂いております。

## 第51回WFP作品展(再掲)

## 第52回WFP作品展出題 担当：神無七郎

反地球とは、太陽を挟んだ地球の反対側にあると空想された架空の惑星。対地球ともいう。…古代ギリシャ語でアンチクトン(αντιχθον)。 (Wikipedia より)

私の好きな作曲家の一人、クセナキスは 1971 年に「アンチクトン (Antikhthon)」という曲を発表しました。私の持っている CD ではこの題名を「対地星」と訳していますが、「反地球」の方が呼称としては普及しているようです。この概念を最初に提唱したのは古代ギリシャのピタゴラス教団と言われています。空想の産物と言ってしまえばそれまでですが、地球が丸いということさえ受け入れられ難かったこの時代に、地球を宇宙の中心から外したこの発想は実に大胆です。クセナキスは「Antikhthon」で故郷の先達の先進性を讃えたわけですが、同時に自分の作品が一般に受け入れられない自覚を題名に込めているように思えます。実際、21 世紀の今でさえクセナキスの音楽は広く受け入れられているとは言えません。

創作や空想の世界を離れ、物理的に「反地球」を考えると、その存在は否定せざるを得ません。例えば以下のページで「地球－太陽－反地球」を配置して挙動を確かめてください。

### 天体の運動－3 体問題 (衛星の運動)

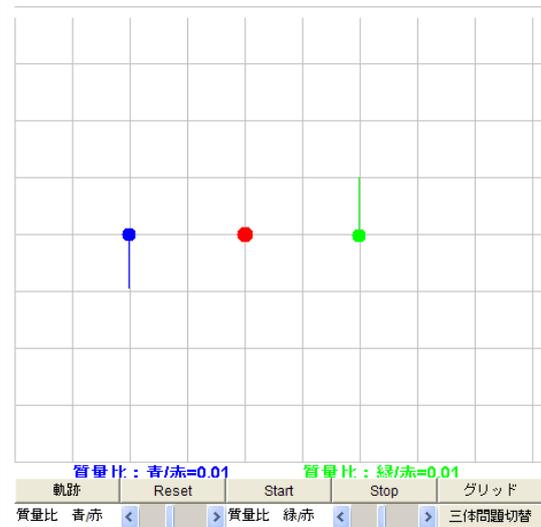
(<http://www.ne.jp/asahi/tokyo/nkgw/gakusyu/ririkaku/wakusei-eisei/eisei.html>)

ここにある Java アプレットは元来「太陽・地球・月」の動きをシミュレートするものですが、質量・位置・速度を変更できるので、太陽を挟んで反対側に地球と同程度の質量の天体を置けば「地球－太陽－反地球」の動きをシミュレートできます。

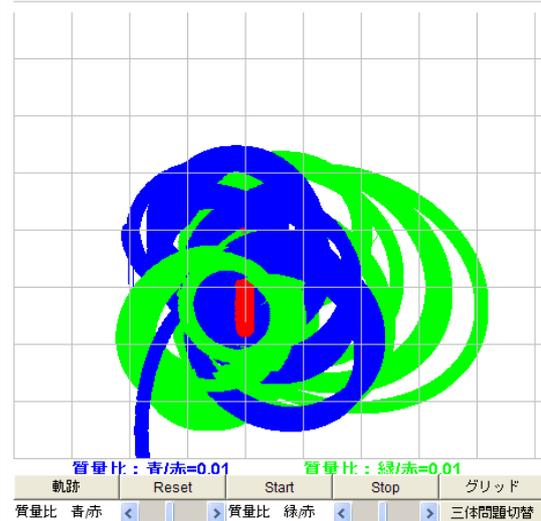
実際にやってみると、この三つ組みの運命はとて不安定であることが分かります。まず、「地球」と「反地球」は同じ軌道に乗りません。太陽だけでなく、相手方の「地球」の引力の影響も加算されるからです。それに初期位置や初速がわずかでも異なれば、周期のずれが互いの軌道を攪乱してしまいます。軌道の乱れは接近のたびに増幅され、遂には一方の「地球」の軌道が大きく歪み、彗星のように投げ出されてしまいます。

### 「地球－太陽－反地球」シミュレーション例

太陽（赤）を挟んで地球と反地球（青と緑）を配置し、逆向きの初速度（線）を与える。短時間で試行が終わるよう、両地球の質量は大きめに設定する。



地球と反地球の軌道は互いの干渉で乱れ、遂に一方が大きく外へ放り出された。



仮に太陽系創生初期に「反地球」があったとしても、それは今遙か彼方の宇宙空間を漂っているかもしれません。昔の映画で太陽を挟んだ反対側に鏡に映したような地球があり、自分とそっくりな人々が自分とそっくりな生活をしている。ただし時計の回り方や、文字は鏡に映したように逆さ向き…という話がありましたが、残念ながらそれは「おとぎ話」であって SF にすらならないのです。

さて、ここまで延々と太陽を挟んで地球とちょうど反対側にある（と想像された）星の話をしたのには、もう一つの理由があります。

今回の WFP 作品展は第 51 回の再掲と、第

52 回の新規出題ですが、第 52 回の WFP 作品展では Equihopper というフェアリー駒が登場します。これはジャンプ台となる駒を挟んでちょうど反対側に着地する駒です。もし、盤が太陽系くらいの大きさなら、太陽をジャンプ台にして地球から反地球に跳んでいけるわけですね。Equihopper はフェアリーランドでも何回か出題された実績があり、駒の性能自体は分かり易いので、ルール説明や参考図を見て解図に取り組んでください。

それ以外にも今回の出題は不動玉、「将」ルール、限定ルール、●（不可侵領域）の使用など多彩。でも解いてみれば、それらを使う理由はきっとご納得戴けると思います。

### 〔第 51 回作品展各題への補足説明〕（再掲）

**51-1** は変寝夢さんの「カンガルー」を使った作品。カンガルーはグラスホッパーに似た動きをしますが、グラスホッパーが 1 枚の駒を跳び越えるのに対し、カンガルーは 2 枚の駒を跳び越えます。跳び越える駒は敵でも味方でも良く、間が空いていても構いません。跳び越えた先に敵駒があれば取れます。

今回の出題ではカンガルーに「考」の字を割り当てています。この表記を考えたのは神無次郎さんですが、面白いので今回の出題にも採用しました。不評だったら次回から別の表記を考えます。

以下に例題を用意しましたので、これを利用してカンガルーの特徴を掴んでください。

### 〔カンガルーの例題〕 神無七郎作

協力詰 3 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								象	一
								角	二
								角	三
							歩	歩	四
								考	五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒なし

受方持駒なし

※考：カンガルー、11 考は玉

31 角成 15 歩 21 角成まで 3 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						馬	馬	象	一
									二
									三
							歩		四
								歩	五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒なし

受方持駒考

初形で 15 考は 3 枚の壁に阻まれています。13 角を移動すると壁が 2 枚になるので 15 考が 11 考に王手を掛けられます。作意は 31 角成ですが、うっかり 22 角とすると「両王手」となり受方は「15 考」とせざるを得ず、詰まなくなります。初手 21 角成でも「15 考」で詰みません。最終手は「16 考」とされないよう 21 角成。ここでうっかり 21 馬と寄ると「16 考」と逃げられます。また初手 31 角生などと洒落た手を指すと、最終手 21 角成に対し「41 考」と逃げられます。

カンガルーは駒の並び方によって利きが生じたり消えたりするので、駒配置をよく確認してください。

**51-2** は変寝夢さんの二玉詰。実はこれ双玉作品で、19 駒は実は攻方玉です。ですから 19 駒は自分に王手を掛ける手や、逆王手の放置をはいけません。普通に受方の玉が 1 枚なら詰まない形ですが、受方に玉が 2 枚あることをうまく利用して詰ましてください。二玉詰は第 41 回 (WFP45 号) や第 44 回 (WFP49 号) でも出題されていますので参考にしてください。

**51-3** は担当者の作。2 年以上前に作って、そのままお蔵入りしていたものです。下手に桂が跳ぶと「成禁」の条件のせいで、桂が役立たずになってしまうので慎重に手を選んでください。

**51-4** は橘圭吾さんの推理将棋。題名が大きなヒントになっていますので、手順の推理に活用してください。

〔第 52 回作品展各題への補足説明〕

52-1 は変寝夢さんによる Equihopper を使ったツインです。なるべく a)b)セットで解答してください。

Equihopper は equal を意味する接頭辞 equi が付けられた hopper で、直訳すると「等距離を跳躍するもの」。ジャンプ台となる駒（敵味方を問わない）を中心に、点対称の位置に着地し、そこに敵駒があれば取ることができます。例えば 33 に Equihopper があるとき、55 に駒があれば 77 へ、45 に駒があれば 57 に跳べるといった具合です。

Equihopper には途中に別の駒が挟まっていると跳べないものと、挟まっても跳べるものがあり、前者を単に Equihopper、後者を Non-Stop Equihopper と呼びます。今回の変寝夢さんの作品では後者の Non-Stop Equihopper が使われています。

参考までに Non-Stop Equihopper を使った過去の作品の例をご覧ください。1996 年 7 月のフェアリーランドで発表された汐多ダダ氏の作品です。出題時の駒の名称は単なる「Equihopper」ですが、フェアリーランドでは Non-Stop Equihopper を単に Equihopper と呼びます（1996 年 4 月号に「途中に何枚駒があっても良い」と説明されています）。

〔Non-Stop Equihopper を使った作品〕

汐多ダダ氏作

（詰将棋パラダイス、1996 年 7 月）

ばか詰 15手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	E									一
E		玉								二
	歩									三
										四
										五
										六
										七
										八
							と			九

持駒 なし

※ E : Non-Stop Equihopper

82 歩成 63 玉 72 と 54 玉 73 と 45 玉  
63 と 36 玉 64 と 27 玉 54 と 18 玉  
55 と 19 玉 29 と まで 15 手

（詰上り）

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	E									一
E										二
										三
										四
					と					五
										六
										七
										八
								と	玉	九

持駒 なし

この作品では E は一度も動いていませんが、最終手を除いて 92E と 81E が交互に王手を掛けています。代わりに動くのがジャンプ台となる「と金」で、玉は次に王手となる位置を選んで移動していきます。その結果、「と金」は金鋸の軌跡を描き、玉はまっすぐ斜めに移動します。このように趣向の中に異なった軌道が混在するという作品は極めて珍しく、Equihopper が通常の駒と異なる現象を起こせる駒であることを強く印象付けられます。

52-2 は担当者の作品。52-4 の投稿があったので、ルールが同じ本局を出すことにしました。ただし、本局には「37 玉は不動」という条件が付いています。11 王は通常通りの利きですので、普通に詰めてください。受方の持駒を制限しているので、使用駒は飛角図式になっています。

52-3 は DD++ さんによる「将」ルールと「限定」ルールを使った珍しい作品。「将協力詰」は「すかし詰」を可とする協力詰です。昔は「ばか詰」でも「すかし詰」は可だったのですが、後に「すかし詰不可」がデフォルトに変更されました。「将」というミニコミ誌では、このルール変更後も「すかし詰可」の「ばか詰」を「将ばか詰」と呼ぶようになりました。

また「限定」ルールは指定手数で（指定手数よりも短くても長くてもいけない）、駒を余らせず詰めよというルール。詳しくは第 47 回 WFP 作品展（WFP53 号）の説明をご覧ください。

52-4 は不透過・不可侵のマスを表す●（チェスプロブレムの Pyramid と同じ。f m では「石」と呼んでいます）を使った作品です。●を置くだけのことはある、手応えのある問題です。

**解答要項**

解答締切：

第 51 回：2013 年 5 月 15 日（水）

第 52 回：2013 年 6 月 15 日（土）

宛先：janacek789@ybb.ne.jp（メールの件名に「解答」の語句を入れてください。）

**作品投稿について**

作品投稿は随時受け付けます。（原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載します。）宛先は解答と同じ janacek789@ybb.ne.jp へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。f m 検討済みなら .fmo 形式のファイル添付を推奨します。

**ルール説明**

**【成禁】**

手順中に駒を成る手があってはならない。「詰み」や「王手」の概念は通常通り。

**【協力詰】**

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

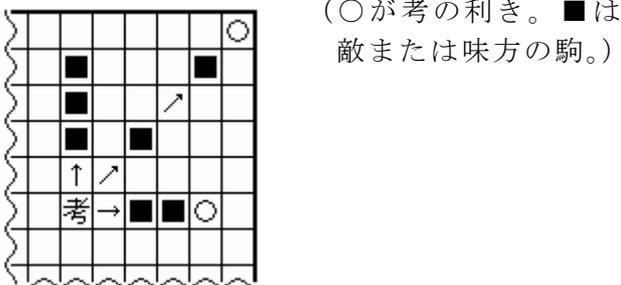
**【クィーン】**

チェスのクィーン（Q）。飛車と角を合わせた性能を持つ。



**【カンガルー】（考）**

フェアリーチェスの Kangaroo。クィーンの利きの方向にある駒を 2 つ跳び越えその先のマスに着地する。着地点に敵駒があれば取れる。3 つ以上は跳び越せない。跳び越す 2 つの駒は間が空いていても良い。



**【二玉詰】**

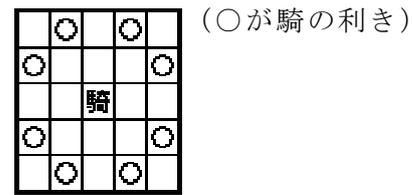
複数の玉のどれかを詰ます。王手もどれかの玉に掛ければ良い。王手を外せなければ詰み。

**【騎王】**

駒詰の一種。玉が騎の性能になる。

**【ナイト】（騎）**

ナイトはチェスの駒。八方桂。

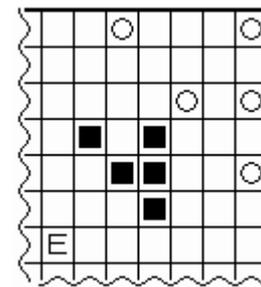


**【推理将棋】**

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

**【Non-Stop Equihopper】（E）**

盤上の任意の駒を中心に現位置から点対称の位置に着地する。着地点に敵の駒があれば取れる。現位置と着地点を結ぶ線上に余計な駒が挟まっても跳べる。



（○が E の利き。■は敵または味方の駒。）

**【キルケ】**

駒取りがあったとき取られた駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される

**【協力自玉詰】**

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

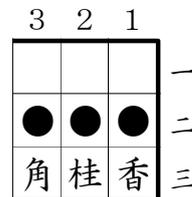
**【将】**

協力系ルールで「すかし詰」を可とする。

**【限定】**

駒を余らせず、指定手数で詰める。

**【●】 不透過・不可侵の領域を表す。飛び越すことは可能。**



例えば左図で、  
12 香や 11 香成は不可。  
22 角や 11 角は不可。  
11 桂成や 31 桂成は可。

《第51回 WFP 作品展》(再掲)  
 解答締切：2013年5月15日(水)

■ 51-1 変寝夢氏作

協力詰5手

									王	一
										二
										三
							龍			四
				考						五
										六
	Q									七
										八
									龍	九

攻方持駒なし

受方持駒なし

※考：カンガルー、Q：クイーン

■ 51-2 変寝夢氏作

二玉協力詰33手

										一
										二
王				龍						三
										四
飛				龍						五
				桂						六
										七
										八
								王	騎	九

持駒なし

※19騎は王、上図の配置以外は標準駒数

■ 51-3 神無七郎作

成禁協力詰61手

		桂							桂	一
										二
										三
										四
										五
										六
									桂	七
									王	八
								桂		九

持駒 歩10

■ 51-4 橘圭吾氏作

推理将棋『右往左往! ?』

A 「32歩同龍 41金同龍 61金迄 23手で詰んだ将棋はどうだったの？」

先手「一つの駒で2種類合計8枚の駒を取って駒得したから勝ったと思ったよ。

でも、5筋で駒を取る事はなかったよ」

後手「41金と61金の2回王手されたけど、他に王手の手はなかったよ」

A 「もう少し教えて欲しいんだけど…」

後手「一局を通して駒打ちは3回だけで、歩の着手は2回だけだったよ」

さて、これはどんな将棋だったのでしょう？

**条件**

- 1) 23手で詰んだ
- 2) 最後の5手は「32歩 同龍 41金 同龍 61金」だった
- 3) 先手は一つの駒で2種8枚の駒を取った
- 4) 先手は5筋で駒を取ることはなかった
- 5) 41金と61金は共に王手で、他に王手はなかった
- 6) 一局を通して駒打ちは3回、歩の着手は2回だけだった



(摂津峡桜公園にて撮影)

《第52回 WFP 作品展》

解答締切：2013年6月15日（土）

■ 52-1 変寝夢氏作

a) 協力詰5手


持駒 E

b) 協力詰5手


持駒 E

■ 52-2 神無七郎作

キルケ協力自玉詰20手

									王
									角

攻方持駒 飛 角

受方持駒 なし

※37 玉は不動

■ 52-3 DD++氏作

将限定協力詰37手


持駒 歩18

■ 52-4 橋圭伍氏作

キルケ協力自玉詰74手


攻方持駒 なし

受方持駒 なし



(摂津峡桜公園にて撮影)

## 推理将棋第65回出題 担当：DD++

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第65回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

([http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post\\_53f2.html](http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html)) をごらんください。

解答、感想はメールで2013年4月20日までにTETSUまで

(omochabako@nifty.com) メールのお題名は「推理将棋第65回解答」をお願いします。

### 推理将棋第65回出題 担当 DD++

今年もすでに4分の1が終わり、年度も変わりましたね。新生活を始めた方も多いのではないのでしょうか。そんな4月は先月の難問から気分を一新して基本の9手問題3題をどうぞ。

出題はチャンプさんから。9手ならば後手の着手は当然4回ですが、それが「縦移動、横移動、斜め移動、駒打ち」という順番になる3局。会話文が全部つながっていて、箇条書きした条件も会話の一部という体裁になっています。ベテランの方は3分以内を目指してどうぞ。

#### 練習問題

「さっきの将棋、▲76歩△34歩▲22角成△42玉▲31馬△同玉まで見てたけどどうなった？」  
「小駒の手まで9手で詰んだよ、って言えば残りの3手は分かるよね」

さて、残りの3手はどんな手だったのでしょうか。

#### 推理将棋65練習問題（6手目）

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		王	金	桂	香	
二		飛								
三	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	
四							歩			
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 角銀

### 本出題

#### 65-1 初級 チャンプさん作

##### 縦横斜打 弟作 9手

2筋の手を無駄な手にしないためには何を指せばよい？

#### 65-2 中級 チャンプさん作

##### 縦横斜打 兄作 9手

初級と条件が酷似しているののでうっかり混同しないように注意。

#### 65-3 上級 チャンプさん作

##### 縦横斜打 父作 9手

たった9手とっていると気づきにくいかもしれません。

#### ■締め切り前ヒント（4月16日 DD++）

初級：8手目はもちろん99で取った香打ち。ならば最初の「縦横」だけで金付き居玉を崩しておかないと先手が攻め手に困りそうです。

中級：後手大駒打ちで思いつくのはやはり角交換。3筋着手を避けるには、さて左右どちらの金を奪う？

上級：8手目は大駒打ちですが、88にいた角ではありません。同の手が2回になったら「横」「斜」の再考を。

#### 65-1 初級 チャンプさん作

##### 縦横斜打 弟作 9手

父「二人ともゲームばかりしないで、たまには推理将棋の問題でも作って見たらどうだ？」  
弟「え～今いいとこなのに一。」

兄「面白いかもよ、何手で作ればいいの一？」  
父「そうだな、9手で作ってごらん。条件は少し変わってて面白い方がいいな。」

・・・数分後・・・

弟「パパ、できたよ。」

父「お、随分と早く出来たみたいだな、どれどれ見せてごらん。」

弟「えーっとねー。」

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 後手は駒を縦、横、斜め、の順に動かし最後に小駒を打った
- ・ 成る手が1回だけあった
- ・ 2筋の着手は1回のみ

### 6 5 - 2 中級 チャンプさん作 縦横斜打 兄作 9手

父「なるほど、こんな短時間で作った割には、なかなかの出来だったな。」

兄「でも、簡単だったよ？」

弟「そんなことないもーん。」

兄「僕ならもっといい作品に出来るよ。」

弟「じゃあ作って見せてよー。」

・・・数分後・・・

兄「出来たよ。」

父「お、そうか、どれどれ見せてごらん。」

兄「これだよ。」

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 後手は駒を縦、横、斜め、の順に動かし最後に大駒を打った
- ・ 成る手が1回だけあった
- ・ 3筋の着手は1回のみ

### 6 5 - 3 上級 チャンプさん作 縦横斜打 父作 9手

弟「ボクが考えた条件をマネするのはズルイ〜。」

父「まあまあ、しかしこれは兄弟作としては面白い作りになったんじゃないかな。」

兄「それなら、お父さんも作ってみてよ。」

父「ほほう、そうきたか。どれどれ、それなら一つ作ってみるとするか。」

・・・数分後・・・

父「よし、これで完成。」

弟「見せて見せてー。」

父「悪いけど父さんもマネさせてもらったよ。」  
兄「似たような問題が3つも揃っちゃったね(笑)」

弟「誰の問題が一番いい出来だったかなあー？」

父「解答者に尋ねてみたらどうだい？」

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 後手は駒を縦、横、斜め、の順に動かし最後に駒を打った
- ・ 成・不成、どちらかの手が1回だけあった
- ・ 同と付く着手は1回のみ

### ■ 練習問題解答

問題以下、▲33角△32角▲22銀まで。

縦横斜打ではなく縦斜斜打なのですが、後手が駒を打つ9手の一例です。詰めるには特殊な形を除いて2枚必要なため、玉方に何か取らせる場合は後で攻め駒不足に陥らないように気をつけなければなりません。具体的にはどうすればいいのか……はぜひ本出題の方でお楽しみください。

推理将棋 6 5 練習問題詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	將	金	王	科	皇			
二		飛				馬	銀			
三	歩	歩	歩	歩	歩	角	歩	歩		
四						歩				
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八							飛			
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 なし









統一感を維持したまま、「煙詰」という条件を達成しています。強欲詰は煙詰を作り易いルールではありますが、こうした構成の作品を仕上げるにはその分野に関する豊富な知識と経験が要求されます。

2枚金による横追い趣向といえ、伊藤看寿の将棋図巧第6番「朝霧」が思い出されますが、強欲協力詰なら他の駒のサポートなしにこの趣向が成立する（「朝霧」の場合は歩成で玉を呼び戻す機構が入っており、むしろ並び歩趣向の方が主）のが利点です。「強欲」の付かない純粋な協力詰だと追わずに隅に戻して早詰が成立しますし、強欲協力詰だからこそシンプルに実現できた趣向と言えるでしょう。

また、本局の詰上りも普通詰将棋の煙詰では見ることのできないものです。

【短評】

**変寝夢さん**

左下からの趣向を右上への2枚桂追撃と早合点し苦戦。強欲は重い手に好手ありますか。

**たくぼんさん**

2枚金の追い趣向が初めにあり、そこから順算で収束を付け逆算というこれまでにない創り方。

**橋圭伍さん**

上辺の2枚金での追い方は何処かで見たような気も……一番易しかったです。

☆ この2枚金による横追い手順は、強欲詰では常識的な筋の一つなので、既視感があっても不思議ではありません。ただ、この趣向を中心に据えて、端から端まで動かした前例はないと思います。

**一乗谷酔象さん**

左辺下で攻めが切れたと思いましたが、二枚金で送る筋がありました。

**占魚亭さん**

金2枚の追撃が素晴らしい。

■ 50-5 たくぼん氏作（正解5名）

強欲協力詰 75手

										9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	香	歩											銀			と	と		一
											歩				歩	香		香	二
										歩	龍			歩	香				三
											ス			と			角	香	四
										香	香						銀	香	五
											ス		ス	桂	と	香		銀	六
										と	歩		と	と	香		馬	香	七
													銀	と			桂	歩	八
																			九

持駒 なし

【解答】

93 龍 92 金 同龍 同玉 93 金 81 玉  
 71 銀成 同玉 72 歩 同玉 83 金 同玉  
 85 香 94 玉 95 歩 85 玉 86 香 同玉  
 87 と 95 玉 96 と 同玉 97 歩 同玉  
 89 桂 88 玉 78 と 89 玉 79 と 同玉  
 68 銀 同と 69 と 同玉 68 と 同玉  
 69 歩 同玉 48 と 25 桂 59 金 同玉  
 49 と 同玉 39 馬 同玉 28 銀 同玉  
 37 銀 29 玉 28 金 19 玉 18 金 同玉  
 17 金 同玉 26 銀 16 玉 25 銀 15 玉  
 24 銀 同玉 23 と 同玉 33 と 同玉  
 45 桂打 43 玉 44 歩 同飛 同と 同玉  
 43 飛 54 玉 53 飛成 まで 75 手

(詰上り)

										9	8	7	6	5	4	3	2	1	
																			一
																			二
														龍					三
														王					四
															桂				五
																			六
														桂					七
																			八
																			九

持駒 なし

【作者のコメント】

改めて見てみると、意外と素直な順で進みますね。いろいろな詰上りを目指した中の1作です。

【解説】

ある有名な古典作品の詰上りから逆算された煙詰。それは作者不知のこの作品です。

〔参考図1〕 作者不知

(初心独習詰将棋講義 大正7年)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				王					三
									四
				桂					五
									六
					桂				七
									八
									九

持駒 飛金

作意は63飛 54玉 44金 同玉 43飛成 の5手詰。2手目52玉とする変化の方がかなり長い(15手詰)ですが、古作には珍しくない変長です。現代人向けに、全体を一段上げて、5手が最長順になるようにした図も作られています。

原理的にはこの詰上り(あるいは適当に平行移動した図)から逆算して全駒煙にすることができはるはずですが、普通詰将棋では実例はありません。現在の所、最もこの詰上りに近いのは以下の作です。

〔参考図2〕 安武翔太

(詰将棋パラダイス 2006年8月)

詰将棋 109手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	王	金	留					と	一
	香	歩						駒	二
	香	と	香	香	香	香	香	香	三
	と	と	歩	駒	歩				四
	歩	駒	と	と	と	と	銀		五
					香				六
			と	玉	桂	と			七
	龍		と	桂	角	ス			八
								と	九

持駒 なし

上の図は1枚が攻方の玉になっており、龍桂桂の詰上りではありません。玉は強力な駒なので桂で逆算すれば、かなり違う手順になるはずでです。

作者はこの詰上りから出発したせいで逆算

に苦勞されたそうですが、周辺以外の詰上りだとスペース確保に苦勞するのは仕方ありません。その分手順が易しくなりがちのところ、作者は逆算を工夫し、収束や下段の横送りでも粘りある手順を実現していると思います。

【短評】

変寝夢さん

49手目の三七銀辺りから手広くて困りました。62手目同玉の局面からは、よく手が続くものですね。

たくぼんさん

この位置での詰上りは逆算していくスペースが少なく結構大変でした。手順が平易なのはそのせい。

橘圭伍さん

手が途切れないようにしていけば自然に解ける作品。下辺の配置から中央で収束しそうなのが見えている辺りも優しさですね。

一乗谷酔象さん

63手目以降の収束がすばらしい。

45桂打と44歩からの精算はホントに盲点でした。

☆ 筆者が解いた時も44歩の俗筋は盲点でした。ついつい歩を成ってしまいたくなります。

占魚亭さん

57桂を残して進むのでこれでいいのかと不安でしたが、詰上りが見えてなるほどと感心。

■ 50-6 たくぼん氏作 (正解4名)

強欲協力詰 89手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		銀					龍	科	一
香	と	香		歩			香	科	二
科	香	香					桂	ス	三
	銀	と					銀	王	四
	ス		と						五
	歩					ス			六
ス	桂			ス		銀	歩		七
		歩	金	金	と	角	香	と	八
香	龍		香			香	と	角	九

持駒 なし

【解答】

13 銀成 同玉 12 龍 同玉 11 桂成 同玉  
 23 桂 21 玉 31 桂成 同玉 41 歩成 同玉  
 42 歩 同玉 43 歩 同玉 54 と 同玉  
 64 と 同玉 73 銀生 同玉 85 桂 同桂  
 83 と 同玉 47 角 72 玉 36 角 71 玉  
 81 角成 同玉 91 香成 同玉 97 香 同桂成  
 92 歩 同玉 93 歩 同玉 94 歩 同玉  
 95 歩 同玉 96 歩 同玉 87 龍 同圭  
 97 歩 86 玉 77 金 97 玉 87 金 同玉  
 79 桂 78 玉 68 金 79 玉 69 金 同玉  
 59 金 同玉 49 と 同玉 39 と 同玉  
 29 金 同玉 38 銀 18 玉 27 銀 17 玉  
 26 銀 16 玉 25 銀 15 玉 24 銀 14 玉  
 23 銀生 13 玉 12 銀成 同玉 22 香成 同玉  
 55 角 44 金 同角 21 玉 22 金 まで 89 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								玉	一
								金	二
									三
					角				四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

11 手目 32 歩が強烈な紛れで、32 歩を残して進むと最後の最後に 55 角には 32 玉となりダメ (81 手目 22 銀生となり以下 91 手)。

この詰上りを発見して逆算でうまく伏線が入り満足の 1 作。

【解説】

金合入りの珍しい収束を元に作られた煙詰。駒が少なくなって右下隅で収束するのかと思いきや、玉を 1 段目まで運んでこの収束に繋がるわけですから、意外性は充分です。

この収束は序と連動しており、11 手目から 32 歩 42 玉…のように進めると、この収束の 55 角のとき強制的に 32 玉となり不詰になります。32 歩を残した状態で、作意 81 手目 22 銀生 12 玉 11 銀成 同玉 21 香成 同玉 31 歩成

同玉 64 角 53 金 同角 41 玉 42 金で詰めることもできますが、残念ながら手数オーバー。つまり 11 手目 41 歩成として一時的に 2 手損しても 32 歩を残さない方が良いでしょう。とても息の長い伏線ですね。

実を言うと筆者はこの伏線を完全にスルーして作意に入ってしまった (32 歩を残すのは心理的に指したくない手だった) ので、あっさり解けたのですが、それでも収束の意外性が大きく、今回の強欲煙群の中で本局が一番面白く感じました。

【短評】

変寝夢さん (※誤解)

97 とが残る不安感は相当なもの。

ブログで準煙があるのを知ってたので何とかになりました。昭和 30 年前後のあの緩い感じがする煙の匂いがしていい雰囲気です。

☆ 変寝夢さんは残念ながら 35 手目 92 歩とした誤解でした。どうやら 99 香を成香と置き間違えたみたいですね。

たくぼんさん

32 歩より 41 歩成の方が手なりに指せそうかも。

☆ 筆者は迷わず 41 歩成を指しました。32 歩を残して思わぬ方向に手順が流れるのは嫌ですし、分かり易い手順を最初に読み、それでダメだったら、改めて面倒そうな手順を読めば良いわけですから。

橘圭伍さん

27 銀・28 香で再度下辺に戻すのは意外でした。収束もこのルールならではのですね。

一乗谷酔象さん

41 歩成の伏線手あり。11 手目 32 歩から入って序盤を 2 手短くすると収束が長くなってしまいます。

・・・23 銀不成 13 玉 22 銀不成 12 玉 11 銀成 同玉 21 香成 同玉 31 歩成 同玉 64 角以下。

占魚亭さん

端 (1 筋・9 筋) での玉の上げ下げがいい感じですよ。





【総評】

変寝夢さん

解答選手権参加の余波で割と解けたと思います。  
切れたと思ったところから、繋がる手順を発見したときはたまりませんね。

たくぼんさん

マキシは結構面白かった。  
これって f m で検討できるのでしょうか？

☆ 残念ながら f m ではマキシはサポートされていません。変寝夢さんは独自プログラムで検討されているそうです。

橘圭伍さん

ルールが複数になっても全題正解をするたくぼんさんは凄いと思いました。  
2種類でも切り替えが……………

占魚亭さん

たくぼんさんの年賀詰が素晴らしかったので、頑張って挑戦してみました。

☆ 占魚亭さんの今回の解答は年賀詰が呼び水になったのですね。WFP 以外の発表場所で作品を発表するのも、解答者層を広げる有力な手段かもしれません。

☆ 実は今週風邪をひいてしまい、原稿作成に支障を来たしてしまいました。いつもより文章量が少ないのは駄文のスリム化に役立っているかもしれませんが、解説の肝心な部分に誤りや抜けがあるかもしれません。その場合はご指摘や補足をして戴けると幸いです。

以上

## 推理将棋第64回出題解説

担当：DD++

出題：平成24年3月4日  
解答締切：平成25年3月20日

今回は全てがかなりの難問で解答者数1桁も覚悟したのですが、やや少なめ程度で済んで安心しました。さすがにこのクラスの難問はしばらく出さないとは思いますが、機会を見て出題難度の幅を（上だけでなく下にも）広げて行きたいものです。

### 64-1 上級 渡辺秀行さん作 4箇所着手3局(A)

17手

A氏「昨日、最初から最後までたった4箇所しか指さない珍しい将棋を見たんだ」

B氏「偶然だね、僕もだよ」

C氏「俺もだ」

A氏「17手目に後手玉が詰んだんだけど、駒成が2回あって少なくとも一方は、直前の相手の着手を取る手ではなかったな」

B氏「僕のは20手目に先手玉が詰んだときに、初期配置から先後の向きだけが逆になっている駒があったんだ」

C氏「俺のは25手で詰むまでに『同』と付く着手は5回だったけど不成の着手はなかったね。」

B氏「うん、僕のは先手は後手の駒成の着手を『同』と取ったんだけど、その駒を打ったら直に後手に『同』と取り返されてそのまま先手が取り返すことはなかったんだ。先手は同じ種類の駒を4連続で着手したよ」

C氏「俺のは後手が最後から2～4番目に着手した駒は順に、角、金、角だったね」

A氏「それで後手が最後に着手した駒は？」

C氏「それは言えないね」

(条件)

- ・17手で詰んだ
- ・着手地点は4箇所
- ・駒成は、同の付かない着手を含め2回あった

### 出題のことば (担当 DD++)

成大駒は強すぎるので、着手地点を後手玉周辺に固めると失敗しそうです。

### 追加ヒント：

着手する地点のうち3箇所は、42、53、76。しかしあと1箇所は33ではありません。

53地点で駒交換の応酬。先手は取った飛を銀に交換し、次いで馬を金に交換して、▲42金まで。

### 推理将棋64-1 解答

▲7六歩 △4四歩 ▲同 角 △4二飛 ▲5三角成 △4四飛 ▲同 馬 △4二銀 ▲5三飛 △同 銀 ▲同 馬 △4二金 ▲4四銀 △5三金 ▲同銀成 △4四角 ▲4二金 まで17手。

今回は全て「着手地点は4箇所」ということで、まずはその条件下での詰手順にどういう特徴が出るか考えてみるのが肝要です。先手勝ちの場合で考えてみましょう。先手は少なくとも1枚駒を繰り出さねばなりません。出動で地点数を消費するわけにはいきません。故に初手▲76歩からの角出動は絶対。しかしこの76地点は当然4地点のうちの1つに数えられる上に、この歩をさらに突くことはできません。つまり、「4地点」というのは事実上「初手76歩、2手目以降は3地点」ということになります。

また、その条件から最終手は駒打ちであることもわかります。というのも、先手が駒を打った瞬間、76以外に着手可能な3地点のうちどこかには直前に指された後手駒があります。では後手はというと次の手は当然残り2箇所のどちらかに着手するしかなく、そこに先手駒があれば当然取られてしまいます。故に先手勢力が2枚になるのは駒打ちのまさにその瞬間しかなく、その時にしか後手玉を詰めることが可能な瞬間はありません。

という2つを把握した上でこの問題を見てみましょう。もし玉が動くなら「76、33、42、41で玉位置は41」もしくは「76、33、42、31で玉位置は31」でしょうが、しかし前者は17手で詰んでも成は1回だけで、後者は先後逆でないと成立しないことが確認できます。従ってこの局は居玉。▲42龍までは先に見た通りありえ

ませんので最有力候補は「▲76 歩▲33 角成▲42 馬～▲42 金」になりますね。しかしここで大問題が1つ。そう、この形は 62 地点をどうにかして塞がないといけないのです。

常識的に考えれば▲42 馬から▲53 馬と穴を空けてここに銀か何かの紐駒を置きたいわけですが、42 地点と玉座との近さがそれを許してくれません。▲42 馬の瞬間王手がかかってしまって後手がそれを取るしかなくなってしまいます。そこで思い切った代替手段の登場。着手地点をわざと玉から遠ざけるように「▲76 歩▲44 角▲53 角成～▲53 紐駒▲42 金（銀）」としてみましょう。後手の手が続かなさそうに見えますが、△44 歩△42 飛△44 飛でギリギリセーフ。この4地点の組み合わせを掘り下げてみましょう。

この4地点であれば不成にするメリットはないので「▲76 歩△44 歩▲同角△42 飛▲53 角成△44 飛▲同馬」までは確定。しかし53 飛でも53 龍でも42 飛でも役に立たないので飛は実は持っていないでも無駄な駒。そこで「△42 銀▲53 飛△同銀▲同馬」と9手目の手パスに遠慮なく使ってしまうでしょう。これで11手、残りは簡単、銀を打って、成って金を取り、それを打って詰みですね。16手目も手パスですが、着手できる場所は44地点だけ、飛は詰まなくなってしまうので指せるのは44角限定です。

それではみなさんの短評をどうぞ。

斧間徳子「簡潔な2条件だけで、このパズルのような面白い手順を限定しているのが凄い。今月の3題の中で最もお気に入り。」

■同時に、簡素であるがゆえに（ノーヒントだと）3題の中で一番解きにくい気もします。バランスが難しい。

はなさかしろう「64-2のパターンで何とかしようと四苦八苦しているときにヒントが出て愕然。33を使わないと行き詰るかと思いきや44飛でぴったりつながるんですね。取った飛車をアッサリ取らせてしまうのも意外で、1問目にして前途多難な滑り出し(笑)」

■4箇所着手で唯一角が33(77)に飛び込まな

い形ですね。これにノーヒントで気づいた方はほとんどいないのではないかと思います。

NAO「33を使わなくても詰むのは衝撃です。それにしても44と53を使うとは全く思考の外側でした。」

■53を使うことは思いついても44経由というのは本当に思いつきにくい。

チャンプ「これが作意でしょうか？かなり酷評にはなりますが、もしこれが作意なのであれば条件である【駒成は、同の付かない着手を含め2回あった】の言い回しが不親切すぎますので解後感が非常に悪いです。もしそこ（言葉を使ったミスリード）を狙って創作されたのであれば大変に不快に思います。折角の面白そうなコンセプトが条件文の微妙さで台無しになっている印象しかありません。」

■「○○は△△を含め×回あった」という形の条件表記は慣習的によく使われていて、先月からの解答者である方にも本条件は問題なく伝わっています。担当としては何も差し支えない表現だったと判断していますが……チャンプさんはどのようにすべきだったとお考えでしょう？

橘圭伍「今回の3作品中これがベストですね。無駄なく纏まっています。」

■17手がこの条件だけで済むとは。

諏訪冬葉「最初の7手は多分これしかない。あとは着手箇所から最終形を予想してそれを満たす手順を構成。・・・ブルーゲームというよりレトロ解析？」

■言われてみると確かにレトロっぽい部分がある……。

しまぎろう「持駒変換みたいで楽しかったです。」

■この特有のテンポは通じるところがありますね。

占魚亭「金を42で取って失敗し、銀打ちに気付きました。」

■17 手もあるので急ぐ必要は全くないんですよ。

隅の老人B 「残りの一箇所は何処？44 と気付けば、後は根気で解決。」

■そして一所懸命駒繰りをしてピタリ 17 手だった時の安堵感。

はやし「やっぱり締め切り前ヒントに助けられました。駒交換のヒントがないと発想できない。」

■中間ヒントで 44 地点で飛をとるとわかった時に、その飛を活かそうとすると迷走しますよね。

S.Kimura 「53 角(馬), 42 龍で詰ませることを考えたので、かなり悩みました。」

■その場合 44 から龍を動かすことになるのでしょうが、そうすると終盤に後手が着手できる場所がなくなってしまうのです。

鈴木康夫「この 4 箇所詰むのは私も見つけていました。」

■こちらの出題直前に mixi で鈴木さんがほぼ同じ問題を出した時には冷や汗でした。

キリギリス「角の成るタイミングと銀の成りまで限定されていて驚きました。」

■4 箇所着手は金銀の取る順の限定が難しいのですが、金は成れないので限定するというのはうまいもの。

妙高仙人「金銀を限定する条件でもあったとは、解けるまで全く気がつかなかった。」

■さり気なさすぎて私もしばらく気づきませんでした。

はらたつと「2 種類の成で限定されているのがすごい。」

■非限定は決して少なくないはずなんですけどね。

正解：16名

S.Kimura さん 斧間徳子さん キリギリスさん しまぎろうさん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん 橘圭伍さん チャンプさん テイエムガンバさん NAOさん はなさかしろうさん はやしさん はらたつとさん 妙高仙人さん

### 6 4 - 2 上級 渡辺秀行さん作 4 箇所着手 3 局 (B) 20 手

6 4 - 1 と同じ会話文

(条件)

- ・20 手で詰んだ
- ・着手地点は 4 箇所
- ・終局図で初期配置と比較して先後の向きのみ逆になっている駒があった
- ・先手は後手の成る手を「同」と取り、その駒を打ち、直に後手に「同」と取られ、その後その駒は先手が取ることはなかった。
- ・先手は同種の駒を 4 連続で着手した。

### 出題のことば (担当 DD++)

先後ひっくり返しただけで先手玉の詰みに役立ちそうな駒は限られますね。

### 追加ヒント：

着手する地点のうち 3 箇所は、34、77、68。しかしあと 1 箇所は 69 ではありません。飛車の往復で形を整えながら△68 銀までを目指します。先手の左銀を取らせることを急ぐと銀の手 4 連続が指せなくなって失敗。

### 推理将棋 6 4 - 2 解答 担当 DD++

▲6 八飛 ▽3 四歩 ▲2 八飛 ▽7 七角不成  
▲6 八飛 ▽同角成 ▲同 銀 ▽2 八飛  
▲7 七銀 ▽6 八飛不成 ▲2 八銀 ▽同飛不成  
▲6 八銀 ▽同飛不成 ▲2 八角 ▽同飛不成  
▲6 八金 ▽7 七銀 ▲同 金 ▽6 八銀 まで 20 手。

本問、問題を見た瞬間面食らった方も多いでしょう。何しろ条件がとてつもない！ しかしこれは長編（17手くらいから？）の推理将棋にはついて回る宿命なのです。解説の前にその点について少々。

詰将棋と異なり王手義務のない推理将棋では長ければ長いほど手順前後の数が爆発的に増大します。もちろん条件をつければいくらかでも制御できるという点は強みではあるのですが、しかしその条件が綺麗に収まることは非常に稀。従って制作者は「簡素だが多数の限定条件をつける」「少数だが長く複雑な限定条件をつける」「紛れも多数消えることをやむなしとして強い条件で一気に縛る」「その狙いでの作問自体を諦める」あたりからうまく落とし所を見つけねばなりません。

しかし、長編の出題数は mixi のコミュニティでさえも少なく、ちゃんと解答募集が行われたものとなれば指折るほどしか前例がありません。長編の困難の落とし所を探るための経験値が推理将棋界全体としてあまりにも不足しているのです。今回もこの条件の長さは気にかかるころがありましたが、解答者の反応が今後の長編推理将棋制作の共有財産になるだろうと考え、本問の採用出題に踏み切りました。

さて前置きはこれくらいにして、問題の解説を。前問とは先後が逆転しました。しかし、大筋は変わりません。「2手目 34歩以外は3地点だけ」「最終手は駒打ち」という性質は本問にもついて回ります。

加えて先後逆になった駒という条件がありますが、△79銀+△68龍は明らかにありえず、△68飛+△69金も少し調べるのに手間はかかりますが成立しないことがわかります。よって△28飛+△68金（銀）の形のみが候補ですね。これに34と77を加えた4地点が今回の着手可能地点です。

まず初手と3手目を28と68でどうにか指さなければいけませんので「▲68飛△34歩▲28飛△77角不成▲68何か△同角成▲同何か」という出だしになります。ここで5手目に飛金銀どれを渡すかですが、ひとまず先後交互というこ

とを忘れると、どうやら飛を最初に渡して「▲68飛△34歩▲28飛△77角不成▲68飛△同角成▲同銀△28飛△68飛不成△28飛不成▲68金▲77金△68銀」という流れを目指すのが最も効率がよさそうですね。これをベースにあと7手、手パスを入れましょう。

△28飛の次の9手目ですが、着手地点は77しかありませんね。▲77桂では以後ここに着手できなくなるので▲77銀▲77角▲77角打の三択。10手目△68飛不成を経て11手目は28に着手するしかありません。▲28銀▲28角の二択。12手目△28同飛不成と戻った所で問題発生。77に駒があるので今度はこれを処分しなければなりません。▲68何か（77から）△同飛不成として、もう一度28に戻すため▲28何か（11手目で指さなかった方）△同飛不成、これで16手。先手はあと金の手2回を残すのみなので、同種駒4連続着手は7～13手目で銀の手4連続を作るしかなく、それでここは全て限定されます。

あとは18手目ですが、中盤の手パスで銀は1枚余計に入手したので、これを77に打ち捨てればちょうど手パスになりますね。例の長い条件を確認すると、5手目に成った駒を6手目に同と取るのを最初にそれとなく行なっておきましたが、それを15手目に打って16手目に同と取られ、18手目に打たなかったので先手が取り返すこともなく、条件を満たしていることが確認できました。

それではみなさんの短評をどうぞ。

斧間徳子 「逆向きの駒としてまず28飛を考えるので、今月の3題の中では一番易しかった。条件文に作者の苦心が感じられます。」

■私なら条件数が増えても細切れにするのですが、はてさてどちらがいいのやら。

はなさかしろう 「なるほど、逆向きと来ましたか。余詰を防ぎつつヒントになる好条件。山ほどある手順前後を仕切る付帯条件付けも相変わらず精妙で溜め息。。」

■余詰防ぎというか、向きだけ逆という駒が残る手順は実はこれしかないんですね、意外に

も。

NAO 「逆向きの駒は最初 69 金を想定してしまい、苦戦。中間ヒントで 28 飛とわかってからも同種駒条件が結構難しい。」

■私も 69 金は少し考えさせられました。最後が「△68 飛（駒打ち）▲77 の手△69 金」になるんですが、これだと可能な 16~17 手目は「△77 の手▲69 桂」のみ、ではその前は、と逆算していくと破綻します。

チャンプ 「大変申し訳ないのですが、これもかなりの酷評になります。まず、条件の文章が長すぎます。解答者に対して条件を理解してもらおうという工夫がまるで感じられません。手順を限定させるためとはいえ、ここまで長文化せざるを得ないのであれば投稿自体を控えるべきだと思います。初投稿の新人作家ならまだしも、ベテラン作家であれば尚の事です。それなりに作意手順が面白かっただけに残念に思います。」

■この長文条件の是非はすぐに結論が出るものではないのでひとまず脇に置き、この場で確実に言えることを1つだけ。難がある作品でも投稿を控える必要はありません。それが出題に値するかを判断するのは担当の仕事です。多少の難があってもちゃんと面白さがある作品はぜひ拝見させていただきたく。あるいは「投稿を目指しているのですがアドバイスください」という形でも構いませんし。

橘圭伍 「自由度が高そうなので創作は一番大変そうです。」

■4 箇所着手の中では一番非限定数は多いですね。

諏訪冬葉 「逆向きの駒は銀だと思ったが意外に手が続かないので飛車を使ったらできた。」

■その4 地点だと△77 銀▲79 玉△68 金の形にしかならず失敗です、おしい。

占魚亭 「先手が銀は取れることに気付くまで1 週間。金も取るものだとばかり思っていました。」

■確かに飛車が2 往復しますが、金銀を取らせると77 に角が残って困るんですよ。

隅の老人B 「4 手目の角生を条件付けるのに作者は苦労した？」

■9 手目▲77 角で13 手目▲68 角とする順、18 手目△77 角とする順、などもありますし、苦労したでしょう。

はやし 「これも直前ヒントに助けられました。飛車の往復は言われないと気付けない。」

■どの手順も攻め方が駒を往復しながら守備駒を消すしかないのです。77 と68 の往復が望めないでこの問題ではこしかないのですね。

S.Kimura 「同じ駒を4 回連続と勘違いして行き詰っていました。金を68 で取って詰ませるのかと思っていましたが、77 まで動かせばよかったのですね。」

■同種駒（同じ種類であれば別の駒でもよい）と同じ駒（物理的に同じ1 枚の駒）は思い込みによる勘違いが一番発生しやすい条件かもしれません。

キリギリス 「前半は先手の駒として、後半は後手の駒として、同じ区間を往復するのが不思議な感じです。」

■これは本当に4 箇所着手ならではの感覚だと思います。

妙高仙人 「素晴らしい手順だが、条件がやや煩雑。精査していないが、19 手でシンプルに表現できそうだが。」

■渡辺さんは72 か92 を使えば19 手でも可能なことを知っていてあえて20 手にしたそうです。ちなみに19 手の場合は……

妙高仙人 「あえて20 手にしないのなら、同じ狙いで、これで限定できている気もするが。」

- ・19 手で詰んだ
- ・着手地点は4 箇所

●成る手なし

●先手の打った駒は2種類だけ

・後手は同種の駒を4連続で着手した。

■同種駒4連続が厳しいので、これでいけてそうです。21手だと玉を4連続で着手する順がありますが、19手だと他には不可能そう。いずれにせよ渡辺さんの狙いからは外れますけどね。

正解：15名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん キリギリスさん しまぎろうさん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん 橋圭伍さん チャンプさん テイエムガンバさん NAOさん はなさかしろうさん はやしさん 妙高仙人さん

### 64-3 上級 渡辺秀行さん作

4箇所着手3局(C)

25手

64-1と同じ会話文

(条件)

- ・25手で詰んだ
- ・着手地点は4箇所
- ・「同」と付く着手が5回あった
- ・不成はなかった
- ・18、20、22手目の着手駒は順に「角」「金」「角」

※「5回あった」は過不足なく5回です。6回以上あってはいけません。

出題のことば(担当 DD++)

4箇所着手の詰手順のうちこの順以外にはま  
ず存在しない特徴があります。

追加ヒント：

着手する地点のうち3箇所は、32、33、76。  
しかしあと1箇所は42ではありません。

32と33に「と金」を往復させながら形を作り、  
▲32龍▲33角で合い効かずの詰み。

この「と金」を作るためには最初の6手は…  
…。

推理将棋64-3 解答 担当 DD++

▲7六歩 △3二飛 ▲3三角成 △同飛  
▲3六歩 △同飛 ▲3三歩 △7六飛  
▲3二歩成 △3三桂 ▲同と △3六飛  
▲3二と △3三飛 ▲同と △3二銀  
▲同と △3三角 ▲3六飛 △3二金  
▲3三飛成 △7六角 ▲3二龍 △3六歩  
▲3三角 まで25手。

この問題は前の問題があるが故に難問です。前の2門での思考をそのまま引き継ぐと永久に正解には近づかないのです。詳しく見てみましょう。

ポイントは同の手の回数。前の2問を見ると、64-1では17手で同の手5回、64-2では20手で同の手6回。着手可能地点数が少ないのですから当然ですね。では25手でこの問題は同の手が何回使えるかという、なんとわずかに5回。これは「初手76歩、2手目以降は3地点」という条件内では困難、というより実は不可能。そこに見切りをつけて前2問で考えた「76にはもう着手しない」という常識を捨てて、初めてこの問題のスタートラインに立つことができるのです。

もちろん75歩なんてできませんから76再着手のためには後手が後手で大駒でこの歩を取りに来るのでしょうか。多くの人が最初に思いつくのは「▲76歩▲33角成▲43馬からの△43角△76角」でしょうが、これは後手の2手目4手目が指せません。「▲76歩▲33角成▲32馬からの△44歩△32角△76角」も4手目に王手対処ができないのでダメ。

正解は角ではなく「▲76歩△32飛▲33角成△同飛△36飛△76飛」と飛で取りに行くパターン。これなら序の手詰まりを起こすこともありません。実質32地点と33地点だけで後手玉を詰められるものか怪しく思えますが、21桂22角31銀41金を全て処分してから▲32龍▲33角で、後手に合駒がなければなんとか詰ますことができます。この形を25手で目指してみましよう。

5手目7手目は「▲76歩△32飛▲33角成△同飛▲36歩△同飛▲33歩」とするしかありませ

んね。ここから先手は駒を取りまくるわけですが、33 地点で取るのは飛角桂の 3 枚で 32 地点で取るのは金銀 2 枚。よって 33 地点で取らせる飛桂、特に飛を取らせることを急ぎましょう。つまり 8 手目からは「△76 飛▲32 歩成△33 桂▲同と△36 飛▲32 と△33 飛▲同と」。16 手目は銀を捨てる最後のチャンスなので「△32 銀▲同と」と続きます。

残りは先後各 4 手なので、先手は「▲36 飛▲33 飛成▲32 龍▲33 角」ですね。後手は「△33 角△32 金」を指して後は持ち駒の角を捨てればいだけ。△36 角と捨てるので 24 手目に指せる手が無いので、「△76 角」と捨てて 24 手目は「△36 歩」で手パス。これで持ち駒は歩しか残らないので▲33 角に対処できる手段は消えて詰みになります。

それではみなさんの短評をどうぞ。

斧間徳子 「76、32、33、36 の 4 箇所はいかにもそれらしいと思っていたが、「同」の付く手を 5 回に収めるのが難しい。作意順は 17 手目までに「同」の手を 5 回使い果たしてしまうので不利感がある。特に後半の手順が巧妙に限定されているのに感心させられる力作。」

■終盤は 4 箇所使えるので同の手が必要ない、と気づかないと中盤の手順にもものすごい抵抗がありますよね。

はなさかしろう 「中間ヒント、何かの間違いではないかと思ったのですが...斧間さん解いてるし...仕切り直して漸く発見。馬を取られても 36 歩で手が続くとは！そして更に、76 飛！！なるほど手数割に同を減らせるわけですね。飛車の威力、本シリーズの白眉でした。」

■薄氷を踏むが如しの手順の連続性です。本当によく見つけたものだと感心するばかり。

NAO 「4 カ所着手としては 42 を使わなくても詰むのも衝撃でした。必然の初手 76 歩の後、使い道がなさそうな 76 をあと 2 回も使えるんですね。「同」5 回と、角金角の手順指定により巧く限定してます。」

■42 を使わないどころか玉に隣接するマスが

なく、しかも先手陣側 2 箇所というのはこの上なく奇抜。

チャンプ 「条件に解答手順を合わせるのが大変（面倒）な問題でした。条件のスマートさに欠けるのはやはり気になりますが、手順が手順なだけにこの程度は致し方ないところでしょうか。意見が分かれるところではありますが、この作に関しては作者&担当の余詰め検討の苦労を評価したいと思います。お疲れ様でした。」

■25 手でこの条件は充分スマートだと思います。少なくとも、過剰にスマートさにこだわって余詰めよりはるかに良い条件付けでしょう。

橘圭伍 「四カ所使い切る展開が見事。最初 7 手と後半 8 手が固定の実質 9 手何ですが 32 で「と」を処理する手順を見落として苦戦しました」

■33 で処分する方が自然そうに見えますものね。

諏訪冬葉 「この順以外にはまず存在しない特徴」と聞いて真っ先に「76 に歩以外の手を入れる」という構想が浮かびましたが、44 歩や 43 馬から 32 角で狙うのは無理そうなので一度挫折。3 手目の角成は取るしかなさそうなのでその後続けられる手順を考えて 36 歩にたどり着きました。これで最初の構想の「76 歩を取る」も解決。」

■なんとなく仄めかしただけにとどめたのですが、よくぞそこを信じて進んでくださったのもので。

占魚亭 「と金の消し方と飛車の打ち場所に苦戦しました。」

■33 とと捨てて 32 飛、も有力。

S.Kimura 「直前ヒントからすると、32(33)と 36 の間で龍が行ったり来たりしそうですが、詰む形まではたどり着きませんでした。正解を楽しみにしています。」

■後手飛が 36 から横へ飛ぶのが正解でした。

鈴木康夫 「後手 76 飛など誰が予想したでしょうか。」

■私も、76 角は考えたことはあったのですが、76 飛はこの問題を見るまで想像の埒外でした。

ギリギリス「最初の 6 手はヒントで分かったのですが、その後の差し手が分かりませんでした。」

■その 36 同飛がただ「と金」を作るためだけの手なわけがない、と考えると……というわけでした。

妙高仙人 「と金作りはすぐに見えるが、「同 5 回」が全然クリアできない。ギブアップです。」

■76 地点開放で終盤の同の手を回避するので。ここを明示したら面白くなくなるということであからさまなヒントにはしませんでした。

(参考)

鈴木康夫さんが全検を行なって、以下の情報をくださいました。

- > 4 箇所着手で詰む位置の組み合わせは 11 通りあります。
- > 34 77 68 18 最短 20 手 例)今回の 2 の類似
- > 34 77 68 28 最短 20 手 例)今回の 2
- > 34 77 68 38 最短 20 手 例)今回の 2 の類似
- > 34 77 68 69 最短 18 手
- > 34 77 68 79 最短 16 手 例)詰パラ 2 月号吉田さん作
- > 76 33 42 41 最短 17 手
- > 76 33 42 72 最短 19 手 例)先後逆の類似
- > 76 33 42 92 最短 19 手 例)先後逆の類似
- > 76 44 42 53 最短 17 手 例)今回の 1
- > 76 33 32 36 最短 25 手 例)今回の 3

(「11 通り」は「10 通り」のカウントミス?)

今回の投稿は「3 組とも先後逆形では成立しない位置」ということでの投稿だったのですが、全検の結果によればその条件を満たすのはパラの吉田さん作とこの 3 組だけ。渡辺さんの手順

発見力に脱帽です。

正解：8 名

斧間徳子さん 鈴木康夫さん 占魚亭さん  
橘圭伍さん チャンプさん テイエムガンバさん  
NAOさん はなさかしろうさん

総評

斧間徳子 「4 箇所着手問題を堪能しました。興味深いテーマですが、レベルの高い今月の 3 題でほぼ出尽くし感があり、これに続く作品はあまりなさそうですね。」

■5 箇所着手でも面白い手順は多数あり、短手数で出しやすいこともあるので今後はそちらにシフトしていく感じになるでしょうか。

はなさかしろう 「中間ヒント、ナイスです！ヒントなしには一問も解けませんでした。ここまでスケールが大きい解が揃うと、さっぱり気持ち良く脱帽です。定番の 4 地点(76,33,41,42)以外の組み合わせもあるかも...とおぼろげには思っていたのですが、こんなにバリエーションがあるとは！ いやあ、凄かった。適切な賛辞が見当たりません^^」

■担当は当然ノーヒントで最後まで挑むことになるのでぐったりでした。

NAO 「これまでの最難問集でしたね。しかもいずれも傑作！4 箇所着手問題は、十分予備知識があるつもりでしたが、いずれの問題も 4 カ所の着眼点がずれてました。中間ヒントに大感謝。的が絞れました。」

■逆に予備知識が柔軟な思考を妨げたのかもしれないですね。

チャンプ 「3 作とも作意手順に意外性が十分あり、推理将棋慣れしている方でもかなり手を焼いたのではないかと思います。逆に言えば推理将棋を始めたばかりの方には手を出し難いのが楽に想像できたので、繰り返すようですが条件の付け方には工夫が欲しかったです。3 作とも解けた後の喜び、楽しさ、感動といった類いが全く無く、疲労感だけが残りだったので推理将

棋離れになる方が出ないかと勝手に危惧しております。流れからすると来月辺りはそれなりに簡単な問題が並ぶと思いますので、新人の方にも楽しんで頂ける内容になることを期待しています。」

■「工夫」の方向はいろいろあります。チャンプさんがこだわるポイントだけが工夫の方向性ではない、というのはまた言えるかもしれませんよ。

橘圭伍 「1が個人的には一番好みですが、3番目が面白さでは一番ですね。こういう作品が出るなら思い付きで適当に話題を出してみるのもありますね」

■そういえば mixi での4箇所着手問題の提起をしたのは橘さんでしたね。

しまぎろう 「今月は難しかったです。でもその分解けたときの感動も大きかったです！」

■そして解けなかった問題の解答を見て啞然とするのもまた推理将棋の楽しみ。

占魚亭 「今月は難問ばかりで大変でした。」

■これで中間ヒントなしだと悲惨なことになっていたでしょうね。

隅の老人B 「推理将棋を解いて思うこと。よくもまあ、こんな手順を見つけて、更にこんな条件を考えるものだなあ、です。解いている爺さんは全くの暇人だが、創り手の方もかなりの暇人？ 失礼、御免。」

■私はふと手が空いた数分を利用して余詰検討をちょっとずつ進めたりもします。他の方はどうなのでしょうね。

S.Kimura 「今回はどう考えて良いのか皆目見当が付かず、直前ヒントまでもらっても、とても難しかったです。4箇所着手と言っても、実質的に3マスしか使えないので、本当に手詰まりになりやすいですね。」

■3に至ってはその考えのままで行くと本当に手詰まりになるという。

妙高仙人「推理将棋の可能性を広げる素晴らしいテーマだと思う。」

■他に似たような条件は何があるでしょうね。「最低何種類の駒を」は明らかに歩1種だけで、類似手順がすでに出題されていますし。

最後に1つ宣伝です。今年も Fairy TopIX の投票が行われる季節になりました。Fairy TopIX とは、1年間に web 上で発表されたフェアリー詰将棋・推理将棋の人気投票企画です。本コーナーで出題された作品もちろん投票対象ですので、2012年出題の作品で気に入ったものがあればぜひ投票をお願いします。詳細は Web Fairy Paradise のサイトへ。不明な点がありましたらたくぼんさんまでどうぞ。

-----  
推理将棋第64回出題全解答者： 16名

S.Kimura さん 斧間徳子さん キリギリスさん しまぎろうさん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん 橘圭伍さん チャンプさん テイエムガンバさん NAOさん はなさかしろうさん はやしさん はらたっとさん 妙高仙人さん  
-----

## Fairy TopIX2012投票結果

2012年のFairy TopIX投票結果発表です。

投票者は、変寝夢、橋本孝治、酒井博久、DD++、橋圭伍、チャンプ、志賀友哉、たくぼん 計8名でした。(敬称略)投票ありがとうございました。

2012年にネット上で発表された候補作は、短編175作(前年100作)、中編39作(前年31作)、長編12作(前年18作)、推理将棋44作(前年43作)の計270作(前年192作)でした。昨年に比べると短編がかなり増えて、中編は微増、長編は減少でした。特に長編の発表が12作はちょっと少ない感じです。作家の皆さんの奮起を期待します。

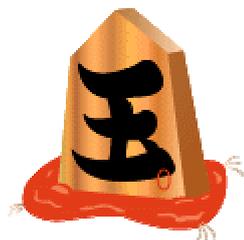
では各部門別に発表します。申し訳けありませんが敬称は略させていただきますのでご了承下さい。

### 【短編部門】

投票者：橋本孝治、橋圭伍、酒井博久、変寝夢、志賀友哉、たくぼん 計6名

半数の3名が1位投票のもず作Koko詰が見事1位となりました。目新しいルールと看空さんの講座が後押しした感じです。2位には神無太郎さんの対面取禁協力詰が入りました。難解作が多かった2012年ですが、しっかり狙いを持った作にも表が集りました。同率2位に上谷氏の背面キルケ打歩協力自玉詰。若い新たな風が吹き込んできたそんな感じでした。

記載は、順位、一覧の番号、作者名、出題年月、出題場所、ルール、手数、お気に入り投票ポイントです。同位の場合は一覧の番号順に記載しています。



 1位 短8 もず 2012/1  
第39回WFP作品展 39-11  
Koko詰 13手

15pt

Koko詰 13手

									王	銀
									金	玉
							馬			
									飛	

持駒 歩

Koko：着手は、そのまわりの8マスに何らかの駒が存在するような地点のみ有効。王手にもこの条件は適用される。

13金 同玉 23飛生 12玉 13歩 同金 同飛成  
22玉 11金 21玉 12馬 11玉 21馬 まで13手

詰上図

									馬	王
										龍

持駒 なし

### 受賞コメント もず

受賞させていただきありがとうございます。ただ、正直に申し上げて、この作品が受賞するとは全く考えていませんでした。Koko詰というルールの良さが伝わったということかと理解します。その意味で、講座を書かれた小林看空氏の貢献が大半だったかなと思います。この場をお借りして、氏に感謝申し上げます。

★ この作品を実際に解図した人にはその面白さがきつと伝わったことだろう。紛れ、変化、作意含めてまさに完成品。ダントツ1位は当然でしょう。なお受賞コメントと共に修正図（改良図）がもず氏より届きました。

もず「発表後、少しだけ改良できそうに思ったので、この機会にちょっとした修正図を出しておきます。」

Koko 詰 15手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	銀	一
									二
							金		三
				馬			香		四
							飛		五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩2

答えは最後に載せておきますので考えてみてください。

橋本孝治 1位

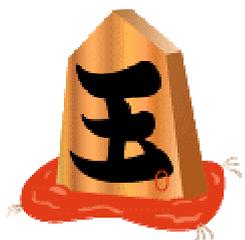
打歩詰を避けるための不成一字面だけ見ると当たり前の手に見えますが、このルール、この構図ではまるで逃がすための不成に見えます。ミニ煙・両王手のプラスアルファも見逃せません。

橘圭伍 1位

このルールの作品で関心した作品。完成度も高く一位に推したい

たくぼん 1位

解図していて昨年一番面白かった作品。



9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				飛	香		科	皇	一
						王	王		二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛香2

19香 18桂 17香 16桂 15飛 14桂 23飛成  
 まで7手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				飛	香		科	皇	一
						王	王		二
							龍		三
								科	四
									五
								科	六
								香	七
								科	八
								香	九

持駒 なし

受賞コメント 神無太郎

受方の持駒を品切れにすることで受方の打歩を誘致する作。余詰消しのためだけの取禁ルールとか、41香 51飛の緩い配置とか、欲を言い出せばきりはありませんが、歩を主題にすると驚くほどコンパクトに仕上がることもあり、これもその部類に入ると言ってよいでしょう。たくぼんさんによれば作者名が解図のヒントになったとのこと。極めて私らしい作と言えるのだと思います。そういう意味で受賞は極めて名誉です。

★ 桂の品切れと、打歩詰誘致という狙いを的確に表現している作品。挑みながらも解けなかった解答者が多かったのではないだろうか。解けそうで解けないというのが作品とすれば理想的と思うが本作はそれに近い作品だろう。

**志賀友哉 1位**

ほぼ飛香を打っていくだけのはずがまったく解けず。まさか打歩誘致だったとは思わなかった。無解で出した中で最も印象に残った作品。

**たくぼん**

狙いがわかり易く好感が持てます。

**2位 短55 上谷直希 2012/10  
第47回 WFP 作品展 47-9  
背面キルケ打歩協力自玉詰 8手**

6 pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		王							一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
							王		八
								角	九

持駒 飛2

31飛 41香 73飛 82玉 23飛生 28歩 22飛生  
32歩 まで 8手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				皇	飛				一
	王				香	飛			二
									三
									四
									五
									六
									七
						王	香		八
								角	九

持駒 なし

**受賞コメント 上谷直希**

今回は短編部門で拙作が受賞したとのこと、本当にありがとうございます。今年には大学一回生ということで慣れない生活の連続でもあり、WFPも少し投稿するぐらいであまりかかわれず、情けない限りです（投票できず、すみませんでした）。そんななかでも拙作を選んでくださった皆様に心から感謝申し上げます。こんなにややこしいルールになってしまい、授賞できるとは思いませんでした。びっくりしています。

確かに、最近は複合ルールばかり発表していますね…。敬遠されがちなルールですが、発見に満ちた楽しいルールですので、是非ともこれから盛り上げて欲しいですね。私も少しでもその力になれば嬉しいです。

★ 正解者0の難解作。複合ルールではなかなか詰上りが想定しにくい場合が多いが、本作もそうである。パッと見ただけでは打歩で詰んでいるかどうか分からない。この詰上りを想定し初形3枚まで推敲した作者の技量に拍手である。

**橋本孝治 2位**

遠くに打つ打歩詰を中心に、軽い駒ばかりで詰める自玉詰。「打歩可」の条件でもこの手順が成立しているというのは面白い考察で、fmにも機能が追加されました。

**たくぼん 2位**

この詰上りは分からない。白旗だったのだから1票。

**4位 短49 神無太郎 2012/10**

**第47回 WFP 作品展 47-3  
背面協力自玉スタイルメイト 6手**

5pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
						王			七
									八
								王	九

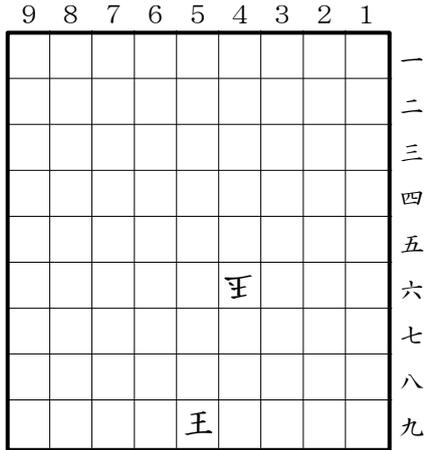
持駒 金香

38金 39飛 48香 58玉 41香生 38飛成 まで  
6手

**変寝夢 1位**

3九飛の緊張感と香限定生移動が素晴らしい

5位 短62 神無太郎 2012/11  
第48回 WFP 作品展 48-5  
安東西協力白玉詰 8手



持駒 香

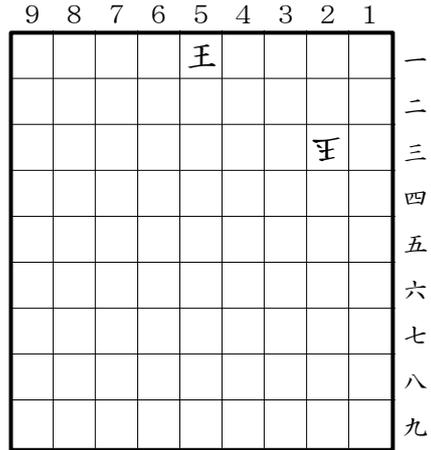
3pt

11飛 21角 同飛生 31香 46角 19角 28飛生  
55香 98飛 18飛 まで 10手

**橘圭伍 2位**

こういう配置のこういう遠隔操作系統の手  
順には惹かれます。

7位 短12 神無太郎 2012/2  
第40回 WFP 作品展 40-4  
協力白玉スタイルメイト 10手



持駒 角2

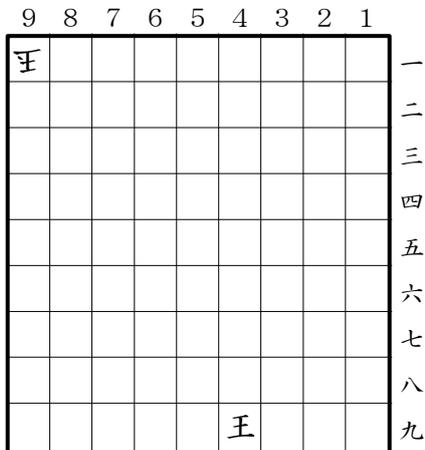
2pt

48香 47飛 同香 56玉 57飛 67玉 49香 68  
玉 まで 8手

**変寝夢 2位**

6七玉の不思議感と香バックは衝撃です

5位 短134 神無太郎 2012/3  
絨毯爆撃免許皆伝?!  
マドラシバか自殺スタイルメイト 10手



持駒 飛

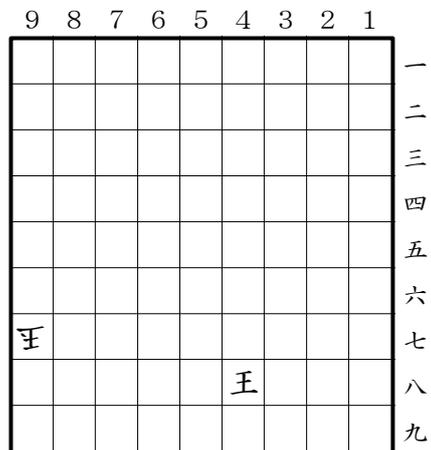
3pt

89角 78飛 32角 同玉 98角 76飛打 同角 同  
飛成 72飛 同龍 まで 10手

**橘圭伍 3位**

目新しさはないのですが、前の香合と一  
緒に形として残しておきたいと思いました。

7位 短63 神無太郎 2012/11  
第48回 WFP 作品展 48-6  
安東西協力白玉詰 8手



持駒 飛

2pt



1 1 位 短 27 小林看空 2012/4  
 第 42 回 WFP 作品展 42B-1  
 背面協力自玉スタイルメイト 14 手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			王						四
									五
王									六
									七
									八
									九

持駒 銀

87 銀 88 飛 97 銀 87 玉 88 銀 89 桂 27 飛 28 角 81 飛成 85 飛 96 銀 同玉 92 龍 93 桂 まで 14 手

たくぼん 次点  
 結構苦勞したので覚えています。

1 1 位 短 74 もず 2012/4  
 Fairy of the Forest # 31-05  
 協力詰 11 手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							歩		四
								歩	五
王								王	六
飛							歩		七
							龍		八
龍									九

持駒 銀

17 銀 25 玉 26 銀 36 玉 37 銀 27 玉 28 銀 16 玉 25 銀 同歩 17 銀 まで 11 手

酒井博久 次点  
 綺麗にできている。

1 1 位 短 85 一色字郎 2012/10  
 Fairy of the Forest # 33-04  
 協力詰 11 手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
					銀	銀	銀	銀	七
									八
								王	九

持駒 なし

酒井博久 次点  
 盤面小駒一色シリーズ中の最難解作。

1 1 位 短 107 小林看空 2012/2  
 ネコ鮮の紹介 (8)  
 ネコ鮮協力自玉スタイルメイト 8 手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							歩		五
									六
歩									七
									八
			王			王			九

持駒 飛2歩

68 飛 48 玉 99 玉 59 玉 89 飛 68 玉 88 歩 77 玉 まで 8 手

橋本孝治 次点  
 本局は双方の玉の動き方がユーモアを感じさせてくれます。新ルールの手筋に慣れて新味を感じなくなっても、こういったストーリー性は残るものだと思います。

1 1位 短 162 神無太郎 2012/11  
 ばか詰裸玉絨毯爆撃作戦三度  
 協力詰 9手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角桂香

59香 58角 48桂 47玉 36角 まで 5手

**橋本孝治 次点**

解答募集はされていませんが、想像もしなかった Isardam (タイプ B) の新手筋。大量の絨毯爆撃はこの一手を掘り出すためにあったと言っても良いくらい。

**【総評】**

**変寝夢**

安東西や側面に可能性を感じた。

**橋本孝治**

今回はいつもより完成度より印象度を重視して投票しました。大量出題があった分野の作品は損しているかもしれません。

**【中編部門】**

投票者：変寝夢、橋本孝治、酒井博久、橋圭伍、志賀友哉、たくぼん 計6名

中編部門の投票者は6名でした。

1位はダントツで看空さんの難解双裸玉。1位票3人ですので文句なし。2位以下は票が割れましたが神無七郎さんの作品が2、3位に入りました。

🌀 1位 中 14 小林看空 2012/4  
 第42回 WFP 作品展 42B-2  
 背面協力自玉スタイルメイト 20手

15pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂2香

49香 37玉 29桂 36玉 48桂 45玉 37桂 38飛 57桂 58角 36桂 46飛 同香 35玉 75飛 76桂 41香生 36玉 48桂 同飛成 まで 20手

**詰上図**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

**受賞コメント 小林看空**

入賞の通知ありがとうございました。素直にうれしい、です。この作品は、背面ばか自殺スタイルメイトを何作かつくっているうちに、突然手筋がひらめいて、構成した作です。(正算と逆算)なぜか、ばか系は、有る程度駒を増やして、逆算すると駒が減っていくようです。王玉の配置はここしかなく、持駒も必然的。いま思うとかなりラッキーでした。むろん絨毯爆撃ではなく、131時間近く2150億局面!をfmで検討した結果です。解はすぐ出てくるのですが、完全の

お墨付きが出てくるまで、パソコンを動かし続けたのは、ちょっと大変でした。

★ 検討時間 5 日半、解析局面数 2150 億という途方もない作品。手順も一級品。

**変寝夢 1 位**

手順の訳のわからなさが素敵です。

**橋本孝治 1 位**

本局は初手で最下段に打った香が、最上段に移動するというストーリーを背面ルールらしい華やかな手順によって実現した傑作だと思います。従来、双裸玉は狙いを簡潔にまとめる小品としての性格が強いものでしたが、今は狙い自体も大掛かりで装飾にも凝る本格的な構想作を目指すものに志向が変わっているように思います。

**たくぼん 1 位**

双裸玉でもこんな手順が眠っているとはこの世界にはまだまだ無限の可能性が広がっていることがわかる。

**2 位 中 34 神無七郎 2012/10**

**Fairy of the Forest #33-06**

協力詰 49 手 (受方持駒なし)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				皇			進		五
				皇	角		歩		六
							ス		七
				王	香		香	皇	八
						歩	王	ス	九

持駒 飛銀歩4

38 銀 39 玉 99 飛 38 玉 39 歩 29 玉 38 歩 89  
 銀 同飛 38 玉 39 歩 29 玉 38 銀 同と 同歩  
 79 銀 同飛 38 玉 27 銀 同歩成 39 歩 29 玉 38  
 歩 69 銀 同飛 38 玉 39 歩 29 玉 38 銀 同と  
 同歩 59 銀 同飛 38 玉 27 銀 同飛成 39 歩 29  
 玉 38 歩 49 銀 同飛 38 玉 39 歩 29 玉 38 銀  
 同龍 同歩 同玉 39 飛打 まで 49 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
					皇				六
					皇	角			七
									八
					王	香	王	香	皇
					飛	飛		ス	九

持駒 なし

**受賞コメント 神無七郎**

本作は中編と言うより短めの長編。昨年度の中編作品はかなり重厚な作が多かっただけに、この作が 2 位に食い込んだのは意外でした。本作は銀を利用した「呼出しハガシ」で、これは地味に希少性があるかもしれません。協力詰において、歩香桂以外の駒を「呼出しハガシ」に使うと余詰防ぎが大変ですが、その分可能性もあると思います。

9pt

★ 普通の詰将棋のような感覚の協力詰。そんなところが票を集めた利用でしょうか。完成度の高さも素晴らしく、2 位に入るのも十分うなずけます。

**橋圭伍 1 位**

今季は色々悩んだのですがこの作品を一位に推します。完成度の高さと意外性などが見た時にありました

**たくぼん 2 位**

後から解きましたが素晴らしいの一言。

**酒井博久 次点**

綺麗な趣向。



**3位 中 29 神無七郎 2012/4**  
**Fairy of the Forest #31-09**  
 協力詰 27手 (受方持駒なし)

7pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
							飛	桂	二
								王	三
							桂		四
									五
								桂	六
							香		七
							香	桂	八
									九

持駒なし

24 飛生 15 玉 14 飛 26 玉 16 飛 27 玉 26 飛  
 18 玉 28 飛 19 玉 18 飛 29 玉 19 飛 28 玉 29  
 飛 17 玉 27 飛 16 玉 17 飛 25 玉 27 飛 26 桂  
 同飛 15 玉 27 桂 14 玉 23 飛成 まで 27手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		一
							龍	桂	二
								王	三
									四
									五
							桂		六
							香		七
							香		八
									九

持駒なし

**受賞コメント 神無七郎**

軽い往復ものつもりで作った作なので、今回の入賞は更に意外でした。短評を見ると 27 飛の一手が作者の想像以上に難しかったようです。塚田流の「詰将棋は一手好手があれば良い」は、フェアリーにも当てはまるのですね。

★ 本作が3位に入った理由は、楽しい手順であったこと。解いてみようという気にさせて、ちょっと悩みつつ、解けると満足。そんな小品。

酒井博久 1位

様式美を感じる。

橘圭伍 3位

行って帰るだけですがこれで限定されているのだから見事と言わざるを得ないです。

4位 中 2 神無太郎 2012/1

第39回 WFP 作品展 39-9

安南協力自玉スタイルメイト 16手

5pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
								王	七
									八
					王				九

持駒 桂3香

29 桂 16 玉 28 香 26 玉 37 桂 27 飛 38 桂 37  
 玉 39 王 26 玉 29 王 38 飛生 19 王 28 飛生 38  
 桂 同飛成 まで 16手

変寝夢 2位

王の横滑りがユニーク

橋本孝治 3位

「どうやって玉を囲うんだろう」とか「玉を弱い駒に変身させよう」など、そんな平凡な発想では解けない作。突然始まる攻方玉の横移動は驚き以外の何物でもありません。





6位 中35 神無七郎 2012/6  
 JIGSAW BOX #07 07-01  
 最悪詰 33手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							歩	香	一
									二
					飛				三
									四
									五
								王	六
							歩		七
							香		八
			金						九

持駒 なし

37飛生 27銀 同飛 18玉 17飛 同玉 18銀 26玉 27銀 35玉 36銀 46玉 35銀 45玉 46銀 36玉 37銀 同玉 48金 26玉 37金 15玉 26金 同玉 27歩 25玉 26歩 24玉 25歩 23玉 24歩 12玉 23歩成 まで 33手

橘圭伍 2位

軌跡の限定が難しい最悪詰でこれだけで中空の移動が限定されているという奇跡の作品

9位 中4 神無太郎 2012/2  
 第40回 WFP 作品展 40-6  
 協力自玉スタイルメイト 26手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
								王	八
									九

持駒 角3香9

受方持駒∞

46角 37角 17角 同玉 19香 同角成 18香 同馬 26角 同玉 29香 同馬 28香 同馬 27香 同

馬 35角 同玉 36香 同玉 37香 同玉 38香 同玉 39香 同玉 まで 26手

3pt たくぼん 3位

解けなかったので敬意を表して。

9位 中7 神無太郎 2012/3  
 第41回 WFP 作品展 41-7  
 キルケ協力自玉スタイルメイト 24手

2pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								香	一
									二
									三
									四
					王				五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂4

37桂 34玉 26桂 23玉 15桂 12玉/19香 24桂 13玉 25桂 24玉/29桂 23桂成 25玉 24圭 26玉 25圭 27玉 26圭 28玉 27圭 29玉 28圭 19玉 29圭 同玉 まで 24手

変寝夢 3位

まったり感たっぷり。

2pt

9位 中20 洞江玄太・志賀友哉 2012/8  
 第45回 WFP 作品展 45-2  
 詰将棋 27手 還元型無駄合概念あり

2pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
					と	歩	銀		五
					銀	王			六
					皇	香	王	桂	七
									八
					銀	歩	桂		九

持駒 飛

受方持駒:香2

16飛 26香 同飛 同龍 39香 37龍 同香 同角  
生 16飛 26香 同飛 同角生 39香 38香 同香  
37飛 同香 同角成 16飛 26香 同飛 同馬 39  
香 37飛 45銀 47玉 48香 まで 27手

橋本孝治 次点

今まで誰も知らなかった、還元型無駄合が作り出す奇妙な世界。手順の奇妙さで言えば「おぼかな作品展」の諸作品を凌ぐかもしれません。

たくぼん 次点

新しい発想には拍手を送ります。

9位 中 30 北村太路 2012/4

Fairy of the Forest #31-10

協力詰 27手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
				歩	歩	歩	歩	皇	香	六
			香	角		銀		飛		七
				桂	金	桂		香	王	八
飛	桂	香	ス	ス						九

持駒 なし

17飛 29玉 19飛 38玉 39飛 27玉 37飛 同  
玉 47金 38玉 37金 39玉 38金 49玉 39金  
58玉 49金 67玉 58金 78玉 98飛 89玉 88  
飛 99玉 89飛 98玉 99飛 まで 27手

橋本孝治 次点

二種三様の「回転」で課題をスマートにクリア。北村氏久々の発表作ですが、発想の冴えは健在。

酒井博久 次点

バトンタッチが巧み。

9位 中 31 北村太路 2012/4

Fairy of the Forest #31-11

協力詰 41手

2pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				香					一
			歩	歩	歩				二
		歩		桂	銀	歩	金		三
	歩			桂			歩		四
歩		角	桂	王	皇	皇	王		五
				香					六
	桂	香		香			香	香	七
	香	香		香	香				八
				香					九

持駒 歩

34銀生 36玉 25銀 47玉 36銀 58玉 47銀  
67玉 58銀 76玉 67銀 85玉 76銀 74玉 85  
銀 63玉 74銀 52玉 63銀生 43玉 52銀生 34  
玉 43銀生 25玉 34銀生 36玉 25銀 47玉 36  
銀 58玉 59歩 同金 47銀 49玉 38銀 58玉  
49銀打 同金 同銀 67玉 66金 まで 41手

2pt

酒井博久 3位

徹底した表現。

14位 中 18 変寝夢 2012/7

第44回 WFP 作品展 44-2

二玉詰 31手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				皇		皇	皇		一
				皇		王	王		二
						桂			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金16

21金 33玉左 23金 同玉上 22金打 34玉左  
24金 同玉上 23金打 35玉左 25金 同玉上  
24金打 36玉左 26金 同玉上 25金打 37玉左  
27金 同玉上 26金打 38玉左 28金 同玉上

27 金打 39 玉左 29 金 同玉上 28 金打 19 玉  
29 金打 まで 31 手

**橋本孝治 次点**

意欲的な二玉詰の趣向作。惜しくも発表時不完全でしたが、未知の領域への挑戦は応援したいと思います。

**1 4 位 中 36 神無太郎 2012/6**  
**JIGSAW BOX #07 07-02**  
**PWC 成禁打歩協力詰 47 手**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
								香	三
							香		四
						香	香		五
								王	六
									七
									八
									九

持駒 香

19 香 18 香 同香 27 玉 29 香 28 香 同香 37  
玉 39 香 38 香 同香 46 玉 49 香 48 歩 同香  
47 桂 同香 35 玉 27 桂 同金右/36 桂 44 桂 37  
桂 同香 36 金 同香/37 金 26 玉 27 香/28 金 同  
玉/26 香 39 桂 18 玉/27 香 19 歩 17 玉 18 歩  
16 玉 17 歩 15 玉 16 歩 14 玉 15 歩 24 玉 25  
香/26 歩 同玉/24 香 26 香/27 歩 15 玉/25 歩 27  
桂 14 玉 15 歩 まで 47 手

**橋本孝治 次点**

「成禁」「打歩」の条件を外した 33 手詰（「中 3 8」）の方が完成度は高いですが、私はこちらの方が好きです。二歩禁利用の紛れが本作を作者の意図を越える難解作にしています。

**【総評】**

**橋本孝治**

中編はスタイルメイト関連の傑作が目白押し。上位 3 作すべてがスタイルメイト絡みになってしまいました。特に「中 1」と「中 1 4」

は甲乙付けがたく、かなり迷ったのですが、盤上に玉以外の「目印」があるかどうかの違いで「中 1 4」を上としました。

**変寝夢**

おとなしい作が多かったかな。

**【長編部門】**

投票者：変寝夢、橋本孝治、酒井博久、橋圭伍、志賀友哉、たくぼん 計 6 名

長編部門の投票者は 6 名でした。

1 位は手順も視覚的にも超人的な「矢絋Ⅱ」正解者が出なかったのは残念だったが、七郎氏の解説と作者自身の論考で充分その素晴らしさを感じ取れるだろう。2 位は北村氏の協力詰。中編もそうだが趣向協力詰は人気がありますね。3 位はやや難しいが七郎氏のこちらも協力詰。作者の作品をもっと解きたい人は多いだろう。

**🌀 1 位 長 3 神無太郎 2012/4**  
**第 42 回 WFP 作品展 42B-3 矢絋Ⅱ**  
**K マドラシ協力自玉スタイルメイト 52 手**

15pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								王	二
									三
									四
									五
									六
王									七
									八
									九

持駒 桂25

89 桂 96 玉 88 桂 85 玉 97 桂打 84 玉 96 桂打  
73 玉 85 桂打 72 玉 84 桂打 61 玉 53 桂 52  
玉 64 桂 72 桂 44 桂 53 玉 65 桂 73 桂 45 桂  
64 玉 56 桂 65 玉 77 桂打 56 玉 68 桂 76 桂  
48 桂 45 玉 57 桂 65 桂打 37 桂 44 玉 56 桂打  
64 桂打 36 桂打 33 玉 45 桂打 53 桂 25 桂打  
32 玉 44 桂打 52 桂 24 桂打 21 玉 33 桂打 41  
桂 12 桂成 同玉 24 桂打 32 桂 まで 52 手

**受賞コメント 神無太郎**

f mでの検討方法が主題と言える作で、検討の過程の詳細はWFP50号の『矢絣II』までの道のりで記したとおりです。現実世界の制約の中で人間とコンピュータの共闘により極限まで検討精度を高める取り組みは私の好むところで、個人的にも非常に印象深い作となっています。いかにも私らしい創作法の作であるとの自負もあり、これまたそういう意味で受賞は名誉であります。

★ とにかく48号の解説と50号の『矢絣II』までの道のりを読んでみてください。正解者0は残念でしたので初見という方は是非挑戦してみてください。文句なしの名作です。

**変寝夢 1位**

名作。溜息が出ます。

**橋本孝治 1位**

抽象的な美の追求が具体的な形に結び付いた作品。難解性では「落ち穂拾い」の「ラウンドアウト」方が勝ると思いますが、盤上双裸玉の本作を推します。

**たくぼん 1位**

言うことないですね。桂の駒が50枚位あれば解けたかもしれないなあ。

**2位 長8 北村太路 2012/4**

**Fairy of the Forest 31-13**

協力詰 117手

13pt

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
										一								
										二								
飛		銀	銀			銀				三								
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	桂		四								
								王		五								
	皇		皇		皇	桂				六								
	入		入		入	飛	入			七								
糸	糸		糸		糸		糸	桂		八								
	香	香	香	香	香	香	香	香		九								

持駒 歩

35飛 16玉 17歩 同と 15飛 27玉 17飛 35玉 37飛 25玉 35飛 16玉 17歩 同玉 15飛 16桂 同飛 27玉 17飛 36玉 37飛 45玉 57桂 同と左 35飛 56玉 55飛 47玉 57飛 36玉 37飛 25玉 35飛 16玉 17歩 同玉 15飛 16桂 同飛 27玉 17飛 36玉 37飛 45玉 57

桂 同と 35飛 56玉 55飛 47玉 57飛 36玉 37飛 25玉 35飛 16玉 17歩 同玉 15飛 16桂 同飛 27玉 17飛 36玉 37飛 45玉 35飛 56玉 55飛 67玉 57飛 76玉 77飛 85玉 97桂 同と 75飛 96玉 95飛 87玉 97飛 76玉 77飛 65玉 75飛 56玉 55飛 47玉 57飛 36玉 37飛 25玉 35飛 16玉 17歩 同玉 37飛 27桂 同飛 16玉 17飛 25玉 15飛 36玉 35飛 47玉 37飛 55玉 57飛 65玉 55飛 76玉 75飛 87玉 99桂 97玉 95飛 まで 117手

**受賞コメント 北村太路**

最初から逆回転を狙って作ったわけでもなく、はがしの舞台と最後詰ます舞台をくっつけたらたまたま逆回転になってただけなので。。。こういうのを狙って作らないと本当はいけないんでしょうが、適当に作っちゃうんでそういう境地に全然辿りつきません。

★ とつつきやすい協力詰は人気があります。回転ものですので考えやすく、考えどころもあって、収束に逆回転も入り2位も納得の佳作。

**酒井博久 1位**

回転物の極致。

**橋圭伍 1位**

この時期は殆ど見てなかったんですが微かに記憶にあり、関心した作品。

**橋本孝治 2位**

右回転か左回転かの選択がどこかで来るだろうと思って解図していたら、予想通り来ました。収束で逆回転の登場です。良い意味で期待を裏切らない作品でした。

**3位 長7 神無七郎 2012/4**

**Fairy of the Forest 31-12**

協力詰 83手

8pt

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
										一								
										二								
										三								
										四								
										五								
駒	科	糸	糸	駒	糸	駒	駒	香	金	六								
皇	皇	歩	歩	歩	歩	香	金	金		七								
飛				龍		桂	金			八								
王			桂			桂	角			九								
	香					王	角											

持駒 なし

48龍 28玉 37龍 39玉 28龍 48玉 37龍 59玉 57龍 58歩 48龍 69玉 49龍 59歩成 58龍 78玉 67龍 69玉 78龍 58玉 67龍 48玉 37龍 58玉 47龍 68玉 48龍 58と 57龍 69玉 67龍 68と 78龍 58玉 67龍 59玉 57龍 58歩 48龍 69玉 49龍 59歩成 58龍 78玉 67龍 79玉 77龍 78と 88龍 68玉 77龍 58玉 47龍 68玉 48龍 58と 57龍 69玉 67龍 68と右 78龍 59玉 79龍 69と直 68龍 48玉 57龍 49玉 47龍 48と 58龍 39玉 59龍 49玉 48龍 28玉 37龍 39玉 28龍 48玉 37龍 58玉 57龍 まで 83手

**受賞コメント 神無七郎**

この作品はやりたいことがほぼ思う通りに実現できた作品で、今回の入賞を嬉しく思います。合駒で発生させた歩を「と金」にして逃げ道封鎖に使うのは、密室物の常道ですが、実際に作ると非限定が多々生じて、なかなか作品になってくれません。本作は龍は3段動け、玉は2段しか動けないという変則的な密室を作ることでこの難点を克服できたので、自分としても満足しています。

★ 結構難解だと思いますが評価が高かった。それだけ手順がしっかり構成されているわけ。

**橘圭伍 2位**

こちらは改めて鑑賞した作品ですが、取禁じゃないのに取禁ぽい手順が素晴らしいです

**たくぼん 2位**

難しかった。けど面白かった。

**酒井博久 3位**

と金発生の伏線が妙。

**4位 長4 たくぼん 2012/9**

**第46回 WFP 作品展 46-8**

**強欲協力詰 79手**

7pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	と						と	と	一
駒			歩		歩	歩	と		二
歩		科		科					三
			王					桂	四
と	香		香	歩	香		香		五
と		歩		歩	と	歩		銀	六
			桂	駒				と	七
歩		歩	龍	飛		駒	入		八
	歩		歩	角	歩			と	九

持駒 なし

55と 同玉 66龍 同玉 68飛 57玉 58飛 同銀 生 48角 46玉 37角 同玉 28と 同玉 29歩 17玉 18歩 同玉 27銀 29玉 38銀 同玉 47銀 49玉 58銀 同玉 67銀 69玉 78銀 同玉 87角 89玉 98角 同玉 97と 同玉 96と 同玉 87金 85玉 76金 同玉 67金 65玉 56金 同玉 47金 45玉 36金 同玉 46金 25玉 35金 14玉 13と 同玉 12と 同玉 22と 同玉 23歩 同玉 34金 32玉 43金 同玉 55桂 52玉 63桂成 同玉 75桂 72玉 83桂成 81玉 92歩成 71玉 81と 同玉 82銀 まで 79手

**志賀友哉 1位**

序盤を抜けると三段階の趣向手順を含んだ煙で、個人的にはシリーズ中もっとも好み。

**橋本孝治 3位**

このルールでの煙詰にはすっかり慣れてしまいましたが、本局は玉がギザギザの波形を描く楽しい趣向手順がとても印象に残っています。単に縦や横に進むより、斜めの要素が加わった方が面白く感じるのは、四角い盤面のせいでしょうか。

**5位 長9 神無七郎 2012/7**

**Fairy of the Forest #32-07**

**協力詰 63手**

5pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					歩	歩	龍		四
				金	歩	香	歩	歩	五
			金	歩					六
			歩	王					七
			王						八
									九

持駒 飛

受方持駒=歩 11

17飛 27歩 同飛 48玉 47飛 39玉 49飛 28玉 29飛 17玉 19飛 18歩 同飛 27玉 17飛 36玉 16飛 26歩 37歩 同玉 17飛 27歩成 38歩 36玉 37歩 同と 16飛 27玉 17飛 38玉 18飛 28歩 同飛 47玉 48飛 57玉 58飛 47玉 57飛 38玉 58飛 48と 39歩 37玉 57飛

47と 38歩 同玉 58飛 27玉 28飛 16玉 18  
飛 17歩 同飛 26玉 16飛 37玉 17飛 27歩  
38歩 36玉 16飛 まで 63手

**酒井博久 2位**

巧妙。簡素さも良い。

**たくぼん 3位**

この位の難易度が一番お手ごろだと思います。

**5位 長11 神無太郎 2012/2**

玉の全格巡り

マドラシばか自殺スタイルメイト 88手

5pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
								香	二
							香		三
						香			四
				香					五
			香						六
		香							七
	香								八
香									九

持駒 香37

受方持駒：∞

19香 18香 17香 16香 15香 14香 13香 12  
香 21香成 同玉 29香 28香 27香 26香 25  
香 24香 23香 22香 31香成 同玉 39香 38  
香 37香 36香 35香 34香 33香 32香 41香  
成 同玉 49香 48香 47香 46香 45香 44香  
43香 42香 51香成 同玉 59香 58香 57香 56  
香 55香 54香 53香 52香 61香成 同玉 69  
香 68香 67香 66香 65香 64香 63香 62香  
71香成 同玉 79香 78香 77香 76香 75香 74  
香 73香 72香 81香成 同玉 89香 88香 87  
香 86香 85香 84香 83香 82香 91香成 同  
玉 99香 98香 97香 96香 95香 94香 93香  
92香 まで 88手 駒余り 香

**変寝夢 2位**

アイデアが斬新。正に前衛的。自分の頭が相  
当古いことを認識させてくれた

**橘圭伍 3位**

これは純粋に面白いですね。発想の勝利でし

よう。

**7位 長2 たくぼん 2012/3**

第41回 WFP 作品展 41-8

強欲協力詰 91手

2pt

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			料		と					一
と	銀				龍			角	香	二
					香	歩	桂	歩	と	三
	歩	と			と				銀	四
歩		飛			歩			と		五
	と		歩					香		六
	香	歩		歩						七
	歩	歩	歩			と	香	王		八
銀	手	桂		金	香	歩		歩		九

持駒 なし

38と 19玉 29金 同玉 28と 39玉 49金 28  
玉 39金打 同馬 同金 同玉 17角 28金 同角  
同玉 27金 同玉 77飛 同香 36銀 同玉 35と  
同玉 34と 同玉 25銀 35玉 24銀 26玉 15  
銀 同玉 14と 同玉 13角成 同玉 12龍 同玉  
22金 13玉 12金 23玉 22金 33玉 32金 43  
玉 42金 53玉 54歩 42玉 53歩成 51玉 62  
と 同玉 71銀生 同玉 82と 同玉 94桂 93玉  
84と 同玉 95と 同玉 96歩 同玉 97歩 同玉  
98銀 88玉 89銀 79玉 88銀 68玉 77銀 78  
玉 79香 87玉 76銀 86玉 75銀 95玉 84銀  
94玉 93銀成 同玉 85桂 82玉 73桂成 71玉  
72圭 まで 91手

**変寝夢 3位**

今年の全駒強欲の中ではこれがベスト。右上  
での芋筋にはまいった



8位 長10 たくぼん 2012/10  
 Fairy of the Forest #33-07  
 協力詰 55手

1pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						歩		歩	三
				歩	歩	銀	銀		四
				飛	香	香	歩	香	五
			角			と			六
					桂	ス	桂	王	七
						ス	桂		八
			香	王		王			九

持駒 歩10

18歩 同玉 19歩 28玉 39角 同と 58飛 17玉 18歩 16玉 26と 同玉 38桂 16玉 17歩 同玉 18歩 同玉 26桂 28と 19歩 17玉 18歩 16玉 17歩 26玉 56飛 17玉 18歩 同玉 19歩 同と 58飛 17玉 18歩 16玉 56飛 26桂 17歩 同玉 18歩 28玉 58飛 37玉 38歩 36玉 56飛 46桂 37歩 同玉 38歩 47玉 57飛 36玉 37歩 まで 55手

酒井博久 次点

手が狭い割に難解。

【長編部門・総評】

橋本孝治

今年度一番印象に残ったのはやはり「矢絰Ⅱ」。長編というより長い中編のようにも感じますが、結晶構造のように自然に生成される秩序には神秘的なものを感じます。

変寝夢

たくぼんさんの職人技が印象的でした。

【推理将棋・プルーフゲーム部門】

投票者：橋本孝治、DD++、橘圭伍、志賀友哉、チャンプ、たくぼん 計6名

推理将棋・PG 部門だけの投票の方が2名いらっしゃいました。ありがとうございます。1

位は一乗谷酔象さんの正解者0名の難解作「アナグラムな対局」、2位は今期も大活躍のチャンプさんの「1年の締めくくり」とDD++さんの「お金をかけたくない将棋」でした。2位のDD++さん作はおぼかな作品展からの入賞でこれにはびっくりしました。それほどインパクトが強かったのでしょうか。

🌀 1位 推36 一乗谷酔象 2012/1  
 第39回 WFP 作品展 39-12  
 アナグラムな対局 30手

17pt

助手「今度は私の先手番でいいですね。では、お願いします」

・・・ 30手目後手の手番で・・・

博士「王手！3回目の王手だけど、これで詰みだね」

助手「負けました。16手目に2枚目の駒を打たれたところではまだまだと思ったんですけど・・・後手陣は手つかずで先手陣だけ終盤になってしまいました」

博士「最終手で詰まさずに後手陣だけ初形に戻す手もあるぐらいだからね」

助手「77地点にこだわって角の手と角成の手と馬の手を指した作戦が悪かったのでしょうか」

博士「77角と77角成と77馬は君だけでなく私も指した手だからね。それだけじゃないよ。棋譜をよく見てごらん。先手と後手の各々の着手15手の棋譜は、順序の違いを除けば同一なんだよ。いわば、『アナグラムな対局』だったんだ」

さて、アナグラムな対局とはどのような将棋でしょうか？

二人の会話を元に推理してください。

78銀 34歩 79金 77角成 68飛 78馬 69金 77馬 78金 同馬 22角生 79金 77角成 68馬 同馬 78銀 77馬 35歩 68馬 36歩 78馬 68飛 36歩 78金 35歩 77角 34歩 22角生 77角 69金 まで 30手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	龍	王	王	龍	科	皇		一
	飛						飛		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
									六
歩	歩	角	歩	歩	歩		歩	歩	七
			龍						八
香	桂		王	金	銀	桂	香		九

持駒 銀歩

**受賞コメント 一乗谷酔象**

本作は、盤上のルールではなく棋譜表記を利用した問題です。短編の好作品の多い中、投票1位という結果に驚いております。棋譜表記を扱う新奇さが評価されて光栄に思います。前例のないアナグラム対局条件は思わぬ難解作になってしまい、正解者ゼロの結果稿にはちょっと寂しい思いをしました。担当の七郎さんには、例題の出題も含めて再出題いただいだけでなく熱の入った丁寧な解説をいただき助けられました。解図に挑戦された方々、投票してくださった皆様に感謝いたします。

**橋本孝治 1位**

この条件を満たす手順が存在すること自体が信じられない作品。解答者ゼロは担当者としてちょっと残念でした。

**たくぼん 1位**

**DD++ 2位**

私がこの条件の36手をmixiで出題したのが発端ですが、まさか30手まで縮まるとは思っておりませんでした。作品というよりもこの手順を見つけたことに拍手。

**橋圭伍 2位**

余り推す人はいないと思いますが次点はこれを推します。非常に面白い条件で有りながらかなりの部分を理詰めで詰められるようになってます。解けなかったのが非常に残念です。

**チャンプ 次点**

ここに載るまで存在自体知らない作品ではありましたが、記憶力テストの解答説明を受けているような正解手順に感心。

**2位 推 31 チャンプ 2012/12**

**詰将棋メモ 第62回出題 1番**

1年の締めくくり 14手

10pt

少年A「指し掛けだった将棋を再開したって聞いたけど、どんな将棋だったのか教えてよ。」

少年B「大晦日に指した将棋のこと？王手が3回あって14手で詰ませて勝っただけだよ。」

少年A「それだけでは何も分からないよ。」

少年B「まあそうだろうね、僕（後手）は4筋の手しか指さなかったよ。」

「それと相手（先手）は5筋の手があったね。」

少年A「王手が3回あったんだよね？それを教えてよ。」

少年B「そう言うと思って今日はちゃんとメモしてきたよ。」

少年A「そうこなくっちゃ。」

少年B「飛成りの王手があった」

「飛打ちの王手があった」

「竜を動かしての王手があった」

少年A「これは全て君が指した王手なの？」

少年B「それは教えられないね。ただ終局時、僕の持ち駒は無かったよ。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

▲7六歩 △4四歩 ▲同 角 △4二飛 ▲6六角 △4七飛成 ▲4八飛 △同 龍 ▲同 玉 △4四歩 ▲4七玉 △4八飛 ▲5六玉 △4五飛成 まで14手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	龍	王	王	龍	科	皇		一
							飛		二
歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	三
					歩				四
				龍					五
		歩	角	王					六
歩	歩		歩	歩		歩	歩	歩	七
									八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 飛歩

## 受賞コメント チャンプ

創作時期は遡ること2年になります。ちょうど推理将棋の魅力にどっぷりハマっていた頃でしょうか。後手にしか出来ない順を模索していた中で偶然発見したのがこの手順でした。いかにも詰みに直結しそうな龍をいとも簡単に清算してから放たれる△44歩。突然ギアを1速まで落とすようなこの一手から詰み上がりに向かう収束の5手が浮かんだ時の衝撃は2年経った今も色濃く脳裏に焼きついています。

この度お気に入り投票でこの作品が2位に選ばれたということで大変光栄に思っております。今後も皆さんに喜んで頂けるような作品を生み出して行ければと思います。解答ならびに投票頂いた方々に御礼申し上げます。

★ 作者自身は推 21 押しだったようだが、投票者の評価は本作が上でした。創り手と解き手の感覚の違いが垣間見れました。

### DD++ 1位

こういう盤外の狙いを持った作品は面白いです。手順もよくできていて傑作。

### たくぼん 2位

44歩の印象がかなり残っています。

### チャンプ 3位

実際かなり悩みました。推薦理由としては10手目△44歩、この一手に尽きます。こんな緩め方は他に類を見ない一手だと今でも思っています。どなたにも気付いては頂けませんでした。コンセプトにも一票入れて3位に推したいと思います。

## 🎲 2位 推 41 DD++ 2012/11

### おばかな作品展 14

### お金をかけたくない将棋

10pt

今、僕ら2人はピンチに陥っている。誰かこの危機を最低限の被害で切り抜ける方法を教えてほしい。

僕らは今、上司に連れられてとある将棋バーにきている。ところがこの将棋バー、どうやら違法行為を行なっている場所だったらしいんだ。つまり、賭け将棋を行なっている場所だったんだよ。ルールはこうだ。

1手着手するごとに駒の移動距離×100円を

備え付けのザルに入れる。斜めに移動すればルート2マスだから141円だし桂を跳ねればルート5だから223円を入れる。終局したらザルに入っているお金の2割を対局料としてお店に払い、そして残った分を勝者が取ることとなる。小駒をうまく使って勝てば対局料が減るから勝った時の利益が大きくなるというわけだ。ちなみにすべての計算において1円未満は切り捨てらしい。

恐ろしいことに、このルールは取った駒や打つ駒の移動距離にも適用される。駒台の位置は1八と9二のちょうど2マス外側として計算するという規定だ。さらに駒を裏返した時には1枚につき300円が追加で課される。駒取りや駒打ちや駒成りも少なく勝った方が儲かるというわけだ。

(賭けのルール)

- ・1手着手するごとに駒の移動距離×100円をザルに入れる
- ・駒取りの場合は、駒台の位置を1八と9二の2マス外側として取った駒の移動距離×100円もあわせて入れる
- ・駒打ちの場合は駒台を同じ位置として打った場所までの移動距離×100円を入れる
- ・駒を裏返した時には1枚につき300円を追加で入れる(成駒を取った時も駒台に置く時に裏返すことに注意)
- ・終局した時にザルに入っているお金の2割を対局料として店に払う・その後ザルに残った分を勝者が取る
- ・全ての計算において1円未満は切り捨て

このルールはたぶん賭けが好きな人にとっては燃えるルールなのだろう。だけど僕らにとっては迷惑極まりない。なぜなら僕らは賭け将棋などしたくないのだから。しかし上司に連れてきてもらった手前「僕らは指しません」とも言えず、やむなく振り駒をして僕の先手で対局を始めるハメになってしまった。

そこで僕ら2人は目線だけである合意をした。すなわち「隣で指している上司がこちらを見ていない間にくだらない将棋を指し、差っ引かれる対局料を最低限にして勝負を終わらせてしまおう」と。一時的に2人の間に金の損得が発生したとしても、対局料を折半する形であとで再分配すればよいのだ。僕らが欲しているのはお金ではなく「一応1局指した」という事実だけなのだから。

ところがここに1つ問題が発生した。一体どんな手順で対局を終えれば最低限の対局料で、つまり最低限の賭け金で対局を終えられるのだ

ろうか、ということだ。

やはり最も金のかかる角は動かしたくないということで、最初に考えたのは「▲26 歩△42 玉▲25 歩△32 玉▲24 歩△42 飛▲23 歩成」だった。7手で詰む順のうち角を使わないのはこの手順だけだからね。これなら6手目までで941円、最終手は取った歩の移動が583円で歩を進めて100円にさらに成るので300円とこの1手に983円もかかってしまうが、トータル1924円だから店にはその2割の384円取られるだけで済むわけだ。

しかしすぐにこの案は却下されることになった。飛車の代わりに金を使って「▲68 玉△84 歩▲78 玉△85 歩▲58 金右△86 歩▲68 金寄△87 歩成」なら、手数は1手多いものの飛車の大幅移動がないため、賭け金トータルは1765円、対局料は353円になる。

ぶっちゃけてしまえば2人で353円なら払っても全く問題ないわけなのだが、ここまで来たらもはや意地というものだ。僕らは1円でも被害を少なくするべく手順の模索を開始した。そして僕はやっとのことで賭け金が1123円で対局料が224円という順を発見した。しかし初手を着手しようとした時に相方の目が言っていたんだよ。もっと安くできる、と。

でも僕にはもうこれ以上安く済む順は思いつかないんだ。だから誰か教えてほしい。最小対局料となる手順はどんな順で、最小対局料はいくらになるのだろうか。

隣で上司が3手目22角成なんて贅沢な手を指しててあっちの対局料はかなり跳ね上がるだろうから、おかげで僕らがどんな露骨な対局をしても店からの文句は来ないと思うのでその点は安心してほしい。

▲投了 まで、対局料0円

**受賞コメント DD++**

我ながらかなり無謀な作品だったと思うのですが、まさかの2位ということに驚きです。次回おばか展に向けて期待に応えられる作品を何か用意しておかねば.....。

★ とにかく「やられた～」感は今期でナンバー1でしょう。

**橘圭伍 1位**

今季の迷う事のないトップ。これだけ長い文章を捏ね回した挙句の投了という解。推理将棋という物を最大限利用した推理将棋史上最大の傑作だと思います。

**志賀友哉 1位**

問題文を読んで楽しい、最小手順を探して楽しい、解説を読んで楽しいと3拍子揃った作品。

**4位 推21 チャンプ 2012/8  
詰将棋メモ 第58回出題 3番  
少年の将棋は？ (その5) 13手**

6pt

少年A「君の将棋早く終わったみたいだけど、どんな将棋だったのか教えてよ。」

少年B「どんなと言われても、王手が4回あって13手で詰ませて勝っただけだよ。」

少年A「それだけでは何も分からないよ。」

少年B「仕方がないな一、じゃあ僕(先手)が指した王手の内容を教えてあげるよ。」

少年A「そうこなくっちゃ。」

少年B「不成りの王手があった」

「一段目に持ち駒を使う王手があった」

「九段目に持ち駒を使う王手があった」

少年A「もう一回は？」

少年B「それは相手(後手)の王手だから教えられないよ。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △4二玉  
▲3三角不成 △同 玉 ▲4六歩 △6八角  
▲同 金 △2四玉 ▲5一角 △1四玉 ▲6九角 まで13手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	飛	金	角	金	銀	科	皇	一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩	王		四
									五
		歩			歩				六
歩	歩		歩	歩		歩	歩	歩	七
			金				飛		八
香	桂	銀	角	王	金	銀	桂	香	九

持駒なし

**チャンプ 1位**

客観的に見て、手順の限定具合・条件の完成度・詰み上がりの美しさ、この三点を高く評価したい。自作とはいえ1位に推させていただきます。

**たくぼん 次点**

51角と69角の対比が素晴らしい。

**5位 推37 一乗谷酔象 2012/2**  
**第40回 WFP 作品展 40-11**  
**生駒王手4回のスタイルメイト 29手**

**4pt**

博士「新定跡の研究は進んでいるかな。たまには一局やるか」

助手「はい。今度は私の先手番でお願いします」

・・・ 29手目先手の着手の後、  
 30手目後手の手番で・・・

博士「まだ詰まされていないけど後手に指す手が無いから仕方ないね。負けました」

助手「ありがとうございます。」

感想戦をお願いします」

博士「序盤から王手を食らいすぎたよ。成駒の王手はなかったけど、17手目が早くも4回目の王手だったからね。」

助手「ええ、不成の多い将棋で6回も不成の手がありましたね」

博士「角が成られた直後の応手がおかしかったかな」

助手「ええ、2回ありましたけど、着手した駒はいずれも香の効きに入りました」

博士「金を取られた直後の応手もおかしかったかな」

助手「ええ、2回ありましたけど、いずれも歩の手でした」

博士「銀を取られた直後の応手も変だったよ」

助手「ええ、2回ありましたけど、いずれも駒が直進する手でした」

博士「そもそも2手目飛車の作戦がおかしかったようだね。」

角頭の歩の手も悪手だったし」

さて、「生駒王手4回のスタイルメイト」とはどのような将棋でしょうか？

二人の会話を元に推理してください。

76歩 92飛 33角生 62玉 22角生 74歩 13角生 73玉 82角 84玉 93角生 85玉 71角成 97飛生 同香 24歩 15飛 25歩 61馬 12歩 31角生 92香 53角成 93桂 63馬 13桂 41馬 84歩 43馬 まで 29手

詰上図

					馬				皇
皇									歩
科					馬				科
	歩	歩							
	王							歩	飛
		歩							
香	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
								飛	
		桂	銀	金	王	金	銀	桂	香

持駒 金2銀2歩6

**橘圭伍 3位**

端でなくて 85 におけるスタイルメイトの発見に1票と投じておきたいと思います。

**たくぼん 3位**

これ解きたかったなあ。

**6位 推17 鈴川優希 2012/7**

**詰将棋メモ 第57回出題 2番**

**5枚の焦点II 10手**

**3pt**

「隣の将棋、5枚の焦点に着手があったよ」  
 「それ、さっきも聞かなかったっけ」  
 「いや、別の将棋だよ。もっと詳しく説明すると、先手の玉、飛、角、金、銀が利いている地点に、後手が角を打ったんだ」  
 「なるほど。それで、どっちが勝ったの？」  
 「10手で先手玉が詰まされてた」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	龍	皇	王	皇	龍		皇	一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
		歩							六
歩	歩	角	歩	手	歩	歩	歩	歩	七
			皇	王			飛		八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

**チャンプ 2位**

僅か 10 手の中に緩急をつけた濃密な手順が組み込まれており文句無しの傑作。一条件の解り易さが加味され、作品の好感度では 2012 年 No.1 の作品だと思います。

**7位 推 28 タラパパ 2012/11  
詰将棋メモ 第 61 回出題 1 番  
馬を寄る 9 手**

2pt

「9 手、初王手で詰ませましたね。会心の一局では？」

「優劣不明の難しい将棋でしたが、馬を 53 に寄って勝利を確信しました」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

- ▲ 7 六歩   ▽ 4 二金   ▲ 3 三角成   ▽ 5 四歩
- ▲ 4 三馬   ▽ 5 三金   ▲ 同 馬   ▽ 7 二金   ▲ 5 二金   まで 9 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀		王		銀	桂	香	一
	飛	金		金			角		二
歩	歩	歩	歩	馬			歩	歩	三
				歩					四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩2

**DD++ 3位**

いぶし銀という感じのシブい作品。好みです。

**8位 推 1 チャンプ 2012/2  
詰将棋メモ 第 52 回出題 1 番  
オウム返し 10 手**

1pt

将ちゃん「ねえピーちゃん、将棋やってみようよ。」

ピーちゃん「シヨウ、シヨウ。」

将ちゃん「僕が先手だ、お願いします。」

ピーちゃん「オネガイシマス。」

将ちゃん「あれ？ピーちゃんは僕の指した筋の手をマネしてくるの？」

ピーちゃん「マネ、タノシイ。マネ、タノシイ。」

将ちゃん「ありゃ～たった 10 手で詰まされちゃったー。」

ピーちゃん「カッタ、カッタ。ワーイ、ワーイ。」

将ちゃん「僕が角・飛・玉だけを動かしてたのが敗因かな？」

ピーちゃん「ソウダネ、ソウダネ。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

- ▲ 3 八飛   ▽ 3 四歩   ▲ 7 八飛   ▽ 7 七角不成
- ▲ 6 八飛   ▽ 同角不成   ▲ 5 八玉   ▽ 5 六飛
- ▲ 5 五角   ▽ 5 七飛成   まで 10 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	桂	銀	金	王	金	銀	桂	皇	一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
				角					五
									六
歩	歩		歩	龍	歩	歩	歩	歩	七
			皇	王					八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 なし

チャンプ 次点

自身にとって推理将棋の新境地を切り拓いた元祖作に一票。

8位 推5 はなさかしろう 2012/3

詰将棋メモ 第53回出題 2番

93572 9手

1pt

「それ暗証番号？ 5桁は珍しいね」  
 「まさか。さっきの将棋のメモだよ。9手で詰んだんだ」  
 「9手の9か。それじゃ3572は？」  
 「3筋の手が5回、7筋の手が2回あったのさ」  
 「ははあ例の...って、あれ？ 97532じゃないのか」  
 「残念でした。83571なら有名な手筋があるけどね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

▲7六歩 △3二金 ▲3三角成 △4一玉  
 ▲3四馬 △3三金 ▲同馬 △7二金 ▲5一金 まで9手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀		金	王	銀	科	皇	一
	飛	金					馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	馬	歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

チャンプ 次点

▲34馬の発想が全く浮かばず大苦戦。気付いた瞬間思わず仰け反ったのが印象深い一作。

8位 推12 はなさかしろう 2012/5

詰将棋メモ 第55回出題 3番

11553 11手

1pt

「それ暗証番号？ 5桁は珍しいね」  
 「ちがうって。さっきの将棋のメモだよ。11手で詰んだんだ」  
 「11手の11なんだね。それじゃ553は、5筋に53回？」  
 「...無理でしょそれ。55の地点に指された角の手成不成符号を見たら3種類あったのさ」  
 「成不成符号が3種類？ 成と不成と、あとなんだっけ、生成りとか？」  
 「.....怖いこと言うね。成の手と、不成の手と、ふつうに成不成符号がつかない手だよ」  
 「11手で55に3種類の成不成符号の角の手だね。11243ならよくある形が使えるのにな」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金		金	銀	科	皇	一
飛							王		二
歩	歩		歩	歩	歩		歩	歩	三
		歩							四
				馬					五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 角歩

チャンプ 次点

条件を修正しても無理なく一条件で纏まったのは不幸中の幸いでしょう。最初から最後まで手順に緩みが無く佳作。

8位 推27 タラパパ 2012/10

詰将棋メモ 第60回出題 3番

取る一手将棋！？ (その3) 11手

1pt

豪「これで1勝1敗か。最後にもう一局同じルールでしょうよ」

翼「了解、またまた君が先手だ、お願いします」  
 豪「最後ぐらいは基本に忠実に・・・おっ？君もかい？」  
 翼「ふふ、当然だよ」  
 豪「これでトドメだ」  
 翼「あー、今度は11手で詰まされちゃったな」  
 豪「最後に駒を取って詰みとはツイてたね」  
 翼「駒を打ち合う乱戦だったけどやられたなー、今度は駒を成る手が無かったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △同 飛  
 ▲7七桂 △3二金 ▲1五角 △4一玉 ▲  
 6五桂 △5二角 ▲5三桂不成まで11手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	駒	香		王	駒	科	皇	一
				馬		香	駒		二
歩	歩	歩	歩	桂	歩		歩	歩	三
						歩			四
								角	五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香		銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

**チャンプ 次点**

条件と手順が奇跡的に噛み合うも、条件を削りすぎて余詰めが生じてしまったという良い意味でも悪い意味でも思い出深い一作。

**【推理将棋総評】**

**橋本孝治**

WFP 作品展以外では推理将棋等を見ていないので、1作だけ投票します。一乗谷酔象氏の作品では「推40」(「狭い所で長期戦」71手)も推したかったのですが、修正図で解答募集をしていないため見合わせました。

**DD++**

推理将棋部門のベスト3のみですが、Fairy Top IX に投票致します。

**チャンプ**

推理将棋・プルフゲーム部門だけではあります

が投票させていただきます。

**【総評】**

**変寝夢**

全体でも「矢絰2」がダントツ。やはりフェアリーは、人間の限界を超えたような、意味さえ分かりにくいものが一番。

★ フェアリーの世界という感じは1番しましたね。

**酒井博久**

候補作一覧をプリントアウトはしたものの、見る時間がとれないので、FOFから選びました。

★ プリントアウトするだけでもたいへんそうですね。何枚になるのかな。

**橘圭伍**

今季の1位は中編を除き決まっていたので比較的楽でした。中編は最悪詰と迷ったのですが好みで協力詰を押しします。今季は様々な作品があり、投票する人の好みで大きく割れそうですね。結果が楽しみです

★ 今年は創る方でも活躍を期待しています。

**志賀友哉**

各一作ずつですが、参加させていただきます。

★ ありがとうございます。期間延長したかいいがありました。

**【その他】**

**一乗谷酔象**

推理将棋・PG 部門で拙作のような長手数作品が1位を取ってしまうと、推理将棋の主流である気の利いた短編が受賞機会を逃してしまい、それももったいない気がします。個人的には推理将棋の短編部門と長編部門を独立して欲しいと思います。

★ 現在の投票状況ではそんな一面もあると思います。投票数が伸び悩んでいる問題もあるし長編の候補作が少ない可能性もありどうするのが最適かは難しいところです。皆様のご意見を募集しますので私まで意見をお寄せください。

## 神無太郎

### 【雑談その1】

世の中は第2回電王戦で盛り上がっていますね。最終戦を待たずしてプロ棋士の勝ち越しがなくなった状況は非常に悔しいですが、そもそも人間 vs コンピュータという全面对決の構図はあまり意味がないとも思っています。相互に補完できる存在なので、そういう関係で究極を目指して欲しいと思います。

★ 先ほど三浦さんが負けて、プロ側の負け越しになりました。時代の流れでしょうか。

### 【雑談その2】

昨年度は別の意味でも印象的な年となりました。何しろ、我が家では大事件があって人生二度目の大学受験モードだったりしたのです。

おかげでフェアリーの創作の方はさっぱりで、今もなかなか受験モードから復活できないでいます。第38回神無一族の氾濫の課題に取り組むも、例題級と方向違いがひとつずつできただけ。方向違いの創作方法は『矢絰Ⅱ』と似たところがあり、内容的にはたくぼんさんが言うところの『時代』なのですが、『曼荼羅』と命名しようか迷っているところです。そのうちどこかでお披露目できると思いますが、その前に完全復活となりますかどうか。

★ 楽しみにあておきます。今度は解きますよ。

(たくぼん)

